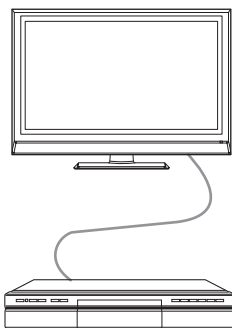
他の機器の映像を楽しむ

ビデオなどの映像を見る

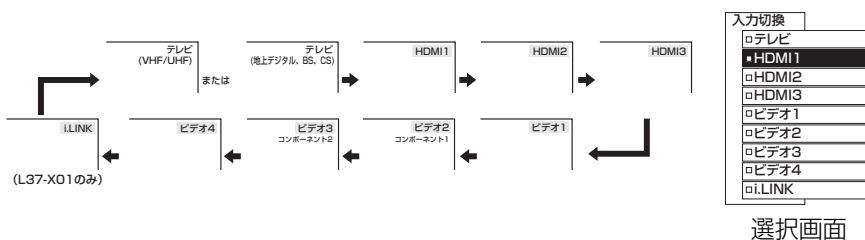
準　備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続方法については、別冊の取扱説明書（①準備編 39）をご覧ください。

i.LINK 対応 D-VHS ビデオデッキなどを使用するときは 112 をご覧ください。（L37-X01 のみ）

1 電源ボタンを押す

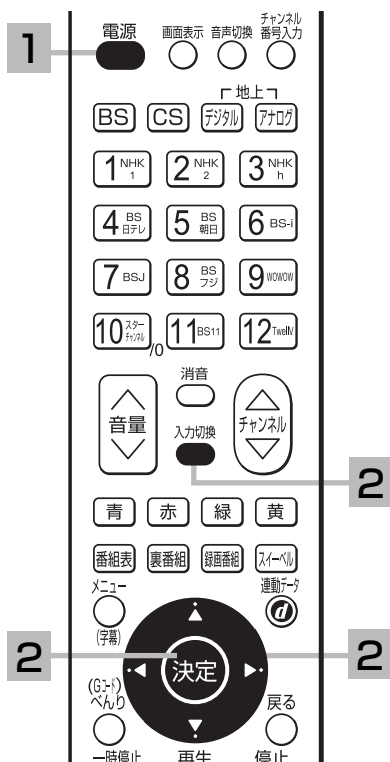
前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ 1 などのビデオ画面になります。）

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

入力切換
- テレビ
- HDMI1
- HDMI2
- HDMI3
- ビデオ1
- ビデオ2
- ビデオ3
- ビデオ4
- i.LINK

選択画面

●選択画面が表示されているときは、でビデオ入力を選択することもできます。このときは、決定ボタンを押すとすぐに選択できます。
●本体で操作する場合は、選択画面は表示されません。また、切り換え順序が異なります。41

3 ビデオを再生する

メ　モ

ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ 2、3 について
ビデオ 2、3 入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4 映像端子）です。D1 ～ D4 映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4 映像端子に接続すると「コンポーネント 1」または「コンポーネント 2」の表示がでます。（①準備編 41, 46, 50）

HDMI1、2、3 について
DVI 信号を入力すると「DVI1」または「DVI2」、「DVI3」の表示がでます。（①準備編 43）

入力スキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛び越し（スキップ）させることができます。（①準備編 119）

ビデオ入力表示の書き換えについて
接続する外部機器に合わせて HDMI 入力やビデオ入力の表示を書き換えることができます。（①準備編 121）

ディテールについて
映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像」設定で「ディテール」を「切」にしてご覧ください。118

「かんたん操作」で外部機器を操作する

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
かんたん操作機能をご使用になるには IR コントロール設定 (①準備編 122) で、ご使用になる外部機器とメーカーを設定してください。

かんたん操作画面の使いかた

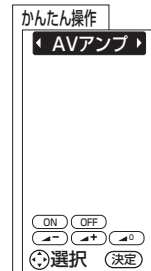
準備

①あらかじめ接続する外部機器を IR コントロール設定画面で登録します。（①準備編 122）
②かんたん操作モードを設定します。133

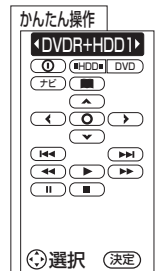
1 べんりボタンを押し、で「外部機器操作」を選び、または決定ボタンを押す

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。「かんたん操作」を選び、決定ボタンを押してください。

2 で「かんたん操作」を選び、決定ボタンを押す

かんたん操作画面が表示されます。

3 で操作する外部機器を選ぶ

を押すごとに、下記の入力端子に接続した外部機器が選択できます。

テレビ /HDMI1/HDMI2/HDMI3/ ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3/ ビデオ 4

●入力表示書換設定で各入力端子に設定した外部機器の名称が表示されます。右図はビデオ 1 入力端子に DVDR+HDD1（外部機器 HDD/DVD レコーダー）を設定したときの例です。
●テレビは、地上アナログ放送とデジタル放送を意味します。
●入力スキップを設定したビデオ入力は選ぶことができません。

お知らせ

録画中は、かんたん操作機能をご使用になれません。

（次ページにつづく）

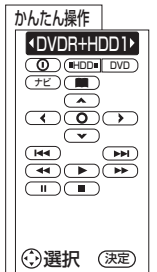
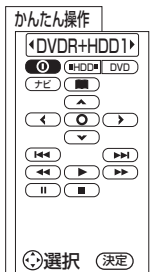
他の機器の映像を楽しむ

「かんたん操作」で外部機器を操作する

かんたん操作画面の使いかた（つづき）

4 決定ボタンを押す

操作する外部機器の映像をご覧になりたいときに押します。
操作する外部機器が接続されたビデオ入力が選択されます。

5 ○を押し○で操作ボタンを選び、決定ボタンを押す

○を押すと、カーソルが操作ボタンに移ります。
決定ボタンを押すと IR コントローラーのリモコン発光部から外部機器を制御する信号が送信されます。

6 戻るボタンを押す

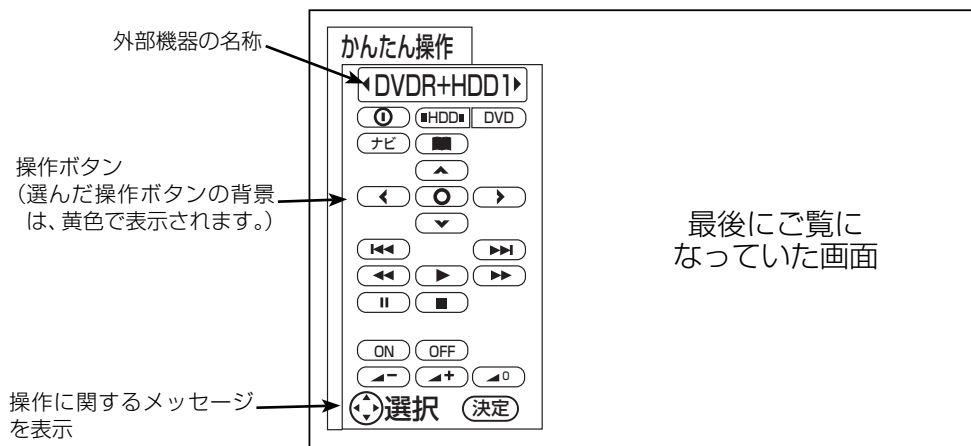
- ●かんたん操作画面が解除されます。
- ●チャンネルボタン、チャンネルアップ / ダウンボタン、入力切換ボタンを押すと、かんたん操作画面は解除されます。
- ●メニューやべんりなど他のメニュー画面を出したときもかんたん操作画面が解除されます。

お知らせ

手順 4 で決定ボタンは長押ししないでください。リモコン送信機と IR コントローラーからのリモコン信号が干渉しやすくなり、外部機器が正常に動作しにくくなることがあります。

メ　モ

- ●入力端子「テレビ / ビデオ」で外部機器に「AV アンプ」を設定すると、入力端子「HDMI1」〜「HDMI3」、「ビデオ 1」〜「ビデオ 4」でも共通で使用することができます。(①準備編 122)
- ●操作ボタンのチャンネルアップ / ダウン（ ）、音量アップ / ダウン（ ）は、決定ボタンを押す毎に 1 チャンネルまたは 1 ステップずつ変化します。
- ●操作ボタンの巻戻し（早戻し）/ 早送り（ ◀◀ ▶▶）、スキップ（ ⏮ ⏭）は、決定ボタンの長押しによる連続操作に対応していないため、外部機器付属のリモコン送信機と同じ操作ができないことがあります。
- ●選択された外部機器または操作ボタンは、チャンネルまたは入力の切り換えを行うと、外部機器は「テレビ」に戻ります。

かんたん操作画面の説明

操作ボタン一覧

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
⏻	：電源	▶	：再生	⊕	：チャンネルアップ
📖	：メニュー	❚❚	：一時停止	⊖	：チャンネルダウン
▲▼◀▶	：カーソル	■	：停止	↘	：衛星切換
○	：決定	●	：録画（VTR機器のみ）	⓪~⑨	：チャンネル番号
ナビ	：ナビ	◀◀	：巻戻し/早戻し	⏻	：アンプ電源（AVアンプ）
VTR / DVD	：VTR/DVD切換	▶▶	：早送り	◢+	：音量アップ（AVアンプ）
HDD / DVD	：HDD/DVD切換	⏮	：一つ前へスキップ	◢−	：音量ダウン（AVアンプ）
		⏭	：一つ先へスキップ	◢0	：消音（AVアンプ）
				ON	：電源ON（AVアンプ）
				OFF	：電源OFF（AVアンプ）
				↘	：入力切換（AVアンプ）

リモコンスルー機能で操作する

本機に接続した外部機器を離れた場所に設置したときに、画面を見ながら外部機器を操作したいときに、外部機器付属のリモコン送信機を、本機のリモコン受信窓に向かって操作します。
本機能をご使用になるときは、「かんたん操作」の設定を「2」に設定します。 133

お知らせ

- ご使用の外部機器によっては、リモコンスルー機能で操作できないことがあります。このようなときは、外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
- 本機と接続した外部機器を近い位置に設置したときなどに、本機に向かって操作したリモコン信号とIR コントローラーからのリモコン信号とが干渉して正常に動作しないことがあります。このようなときは、「かんたん操作」の設定を「1」にして 133 、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。

デジタルカメラの画像を見る

本機は、デジタルカメラで SD メモリーカードに記録した静止画像を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。(この時、音声は出力されません。)

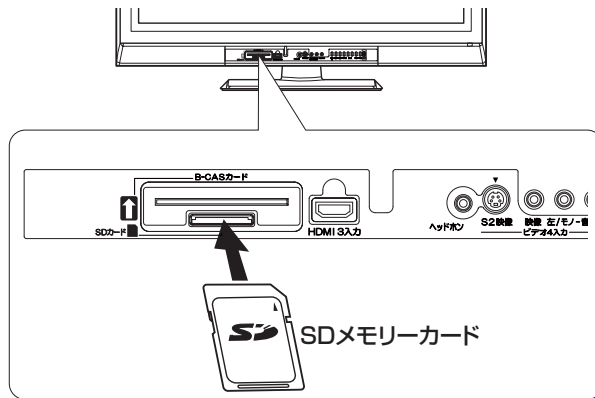
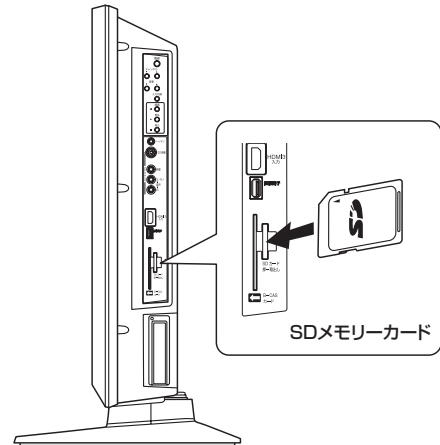
お守りください

SD メモリーカード(またはマルチメディアカード)以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SD メモリーカードを入れる

1 SD メモリーカードを挿入する

SD メモリーカードには裏表があります。表面を本体の前面側に向けて、まっすぐ奥まで差し込んでください。

P42-HV01

L37-X01

SD メモリーカードの抜きかた

SD メモリーカードの抜きかた

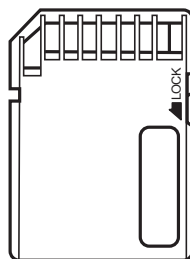
挿入されている SD メモリーカードを奥に押して指を離せば出てきます。

お知らせ

SD メモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

表面

裏面

●マルチメディアカード（MultiMediaCard™）との上位互換があるため、本機では SD メモリーカードと同様にマルチメディアカードもご使用になれます。

●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

● SD メモリーカードまたはマルチメディアカードによっては、本機で動作しない場合があります。

● 2GB を超える大容量メモリカード規格の SDHC メモリカードは、本機で使用することはできません。

お守りください

SD メモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機器です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。

●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。

●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用･保管は避けてください。

●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。

●メモリーカードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

写真を見る

本機ではデジタルカメラなどで記録した画像データを表示することができます。
表示できる画像データは、DCF 規格の画像データです。

1 べんりボタンを押し、◯で「写真を見る」を選び、決定ボタンを押す

写真を見る画面で画像データのサムネイル一覧が表示されます。

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

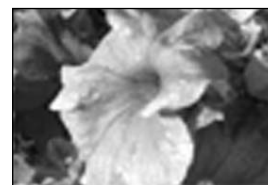
「カードを挿入してください」とメッセージが表示された場合は、メモリーカードが挿入されていることを確認してください。

2 ◯でサムネイルを選び、決定ボタンを押す

選択したサムネイルが１画面表示されます。

- 画像データのサムネイルを最大 9 個表示します。10 枚以上の画像データが SD メモリーカードに登録されているときは、下端から◯ボタンで表示送りすることができます。
- 黄ボタンを押すごとに、90 度ずつ時計まわりに回転します。
- サムネイルを選択して赤ボタンを押すと、スキップ設定がされます。スキップ設定された画像データはスライドショーでは表示されません。
- 数字ボタンで 3 桁の数字を入力すると、指定したサムネイルを選択することができます。12 枚目を選択するときは、1、2と押します。総数が 100 枚以上のときは、10/0、1、2のように 3 桁で入力します。

3 戻るボタンを押す

写真を見る画面に戻ります。

4 戻るボタンを押して、メニューを消す

写真を見る画面を終了し、放送画面に戻ります。

お知らせ

- 水平方向の画素数が 3072 画素、垂直方向の画素数が 2304 画素をこえる画像は表示することができません。圧縮率の高い画像では、この画素範囲内でも表示できないことがあります。
- 表示できる画像データは999個までです。
- 本機は、最大 2GB までの SD メモリカードの動作の確認を行っています。
- DCF(Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- サムネイルがない画像データはサムネイルが表示されません。
- パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては表示されないことがあります。
- 拡張端子に接続したメモリーカードやデジタルカメラに挿入されたメモリーカードの画像データも同様の操作で表示することができます。拡張端子に接続できる機器は (①準備編 52) をご覧ください。(L37-X01 のみ)
- 大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。
- 本機能を私的な目的以外でご利用にならないでください。著作権法上違反になる場合があります。

デジタルカメラの画像を見る

スライドショーを表示する

画像データを自動的に切り換えて表示することができます。

写真を見る 109 を表示させ、スライドショーを開始したいサムネイルを(▲▼◀▶)または数字ボタンで選びます。

1 [青]ボタンを押す

スライドショー設定画面が表示されます。

2 (▲▼)で設定したい項目を選び、(▶)または決定ボタンを押し、(▲▼)で設定する

写真を見る
スライドショー設定
表示間隔　１５秒
実行順序　順方向
繰り返し　しない
スライドショー実行
(▲▼)選択　(▶)決定　(◀)戻る

(▲▼) 設定項目	(▶) ➡ (▲▼)	設定のポイント
表示間隔（秒）	5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60	画像を表示し終わってから次の画像を表示し始めるまでの時間を指定することができます。
実行順序	順方向 / 逆方向	サムネイルに表示されている番号が大きくなる方向に切り換えるときは、順方向に設定します。
繰り返し	する / しない	「する」に設定すると、最後の画像データを表示した後は、自動的に最初の画像データに戻って表示が続けられます。

3 設定が終了したら(◀)または決定ボタンを押す

4 (▲▼)で「スライドショー実行」選び、決定ボタンを押す

スライドショー（自動設定）が開始されます。

5 戻るボタンを押す

スライドショーを終了し写真を見る画面に戻ります。

お知らせ

- [緑]ボタンを押すとスライドショーで表示する範囲の指定ができます。
- [緑]ボタンで設定した表示する範囲の指定は、スライドショーを終了すると解除されます。
- スキップと回転の設定内容は、記録されている内容が異なるSDメモリーカードを挿入するまで保存されます。

i.LINK 接続機器を操作する（L37-X01 のみ）

i.LINK について

i.LINK の規格や特長について説明します。i.LINK を使って操作する前にお読みください。
なお、i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については次頁をご覧ください。

i.LINK とは

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394 の呼称です。IEEE1394 は米国電気電子技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps ／ 200Mbps ／ 400Mbps の転送速度があり、転送速度は i.LINK 端子の周辺にそれぞれ S100、S200、S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送が可能なため、S400 と表示されています。
また、i.LINK は直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル 1 本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できる i.LINK は、今後さまざまなデジタル AV 機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

リンクとは

「リンク」をするとは、操作したい相手の機器を 1 台選ぶことを意味します。
ケーブルで接続しただけでは i.LINK 対応機器を操作したり、映像や音声などのデータをやりとりすることはできません。
操作する前に、必ず相手の機器をリンクしてください。

- i.LINK 対応機器の録画中に、i.LINK で接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器を i.LINK で接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。
- リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。

本機と接続して動作する i.LINK 対応機器

接続については、別冊の取扱説明書「i.LINK 対応機器と接続する」(①準備編 42) をご覧ください。

対応機器一覧

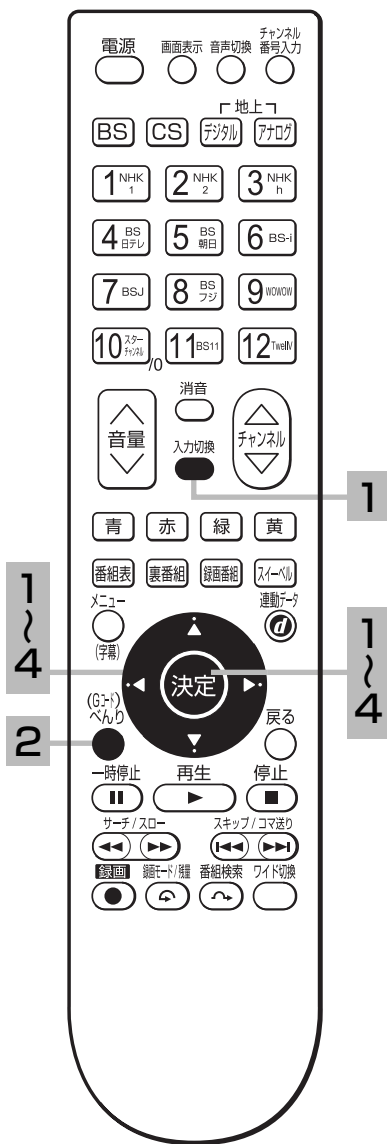
D-VHS ビデオデッキ	: DT-DRX100（日立製：生産完了品）
	: HM-DHX2（日本ビクター製）
	: HM-DHX1（日本ビクター製）
	: HM-DHS1（日本ビクター製）
ハードディスクレコーダー	: HVR-HD160M(I・O DATA 製)
	: HVR-HD250M(I・O DATA 製)
	: HVR-HD250F(I・O DATA 製) D-VHS モードで、ご使用ください。

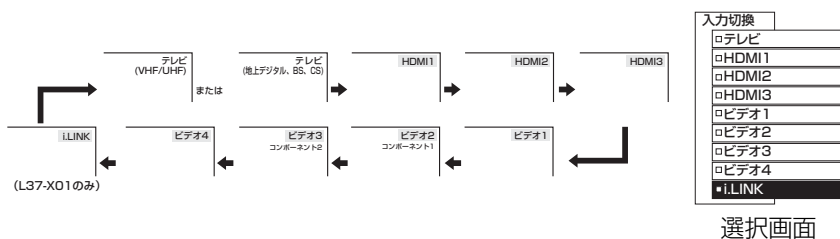
- 本機と i.LINK ケーブルで接続した場合の i.LINK 機器操作、予約録画、再生および本機で録画した番組のダビング (移動) の動作を確認しています。

日立ハイビジョン HDD/DVD レコーダー	: DV-DH1000S/DV-DH500S（生産完了品）
	: DV-DH1000D/DV-DH500D（生産完了品）

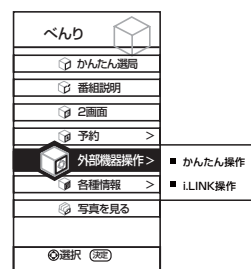
- 本機と i.LINK ケーブルで接続した場合、本機で録画した番組のダビング (移動) のみ可能です。
- 本機からダビング（移動）する際は、「レコーダー 1」の HDD に切り換え、入力切換で i.LINK 入力（d 入力）を選択してください。（詳しくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

D-VHS ビデオデッキなどを操作する(L37-X01 のみ)

i.LINK ケーブルでつないだ i.LINK 対応 D-VHS ビデオなどを本機で操作したり、映像や音声などのデータをやりとりするには、必ず操作したい機器をリンクしてください。
日立ハイビジョン HDD/DVD レコーダーでは、i.LINK 操作画面が表示されますが操作できません。

1 入力切換ボタンを押して、「i.LINK」を選ぶ

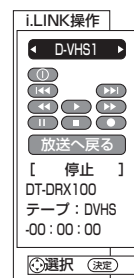
押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時)

選択画面

- 選択画面が表示されているときは、でビデオ入力を選択することもできます。このときは、決定ボタンを押すとすぐに選択できます。
- 本体で操作する場合は、選択画面は表示されません。また、切り換え順序が異なります。41

2 べんりボタンを押し、で「外部機器操作」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「i.LINK 操作」を選び、決定ボタンを押す

i.LINK 操作画面が表示されます。

4 で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

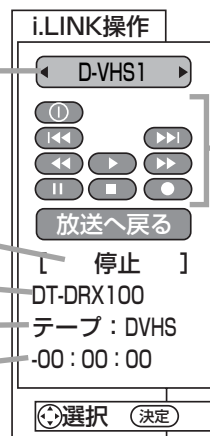
相手機器をリンクします。

- 登録した機器が 3 台までのときは、自動的に操作パネルに D-VHS1 ～ D-VHS3 や DV が登録されています。
  表示される名称（接続名）は、本機に接続した順に自動でつけられています。
- 操作パネルに表示されている機器をリンクできない場合、i.LINK 機器設定画面 (①準備編 126) で実際に接続されているかをご確認ください。
- 再生状態から停止しても本機では、i.LINK 入力状態のままになっています。
  「放送へ戻る」を選択し、決定ボタンを押すとデジタル放送に戻ります。

お知らせ

●本機で操作パネルに登録できる i.LINK 対応の D-VHS ビデオなどは 3 台までです。
● 3 台以上の機器が接続されている状態でも、i.LINK 機器設定画面 (①準備編 126) で操作パネルへの登録を解除していて、登録台数が 3 台に満たないときは、新たに接続した機器が自動的に登録されます。
●接続する機器によっては、接続する機器の電源が入っていないと正しく接続できない場合があります。そのような時は、接続機器の電源を入れてから接続してください。
●操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、実際に表示が現れるまで数秒かかる場合があります。
●操作ボタンを使用して操作する場合と、ビデオのリモコンで操作する場合とで動作が異なる場合があります。
●登録機器がないときは、操作ボタンなどが表示されている部分は表示されません。
●リンクしている機器がないときは、操作ボタンなどは選択できません。操作したい機器を必ずリンクしてください。
●リンクしている D-VHS ビデオなどを、ビデオのリモコンなどで直接操作したい場合、操作内容に応じて表示が変わります。ただし、操作パネルにない機能は、正しく機器の状態が表示されないことがあります。
●リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。
●リンクしていない機器を操作することはできません。
●操作する機器の取扱説明書をよくお読みください。
●リンクしている D-VHS などからハードディスクへの録画はできません。
●「放送へ戻る」ボタンはリンクしている機器が再生中の場合には動作しません。
● DV 方式デジタルビデオカメラの機種によっては i.LINK 接続できません。その場合は映像·音声ケーブルで接続してください。
● DV 方式デジタルビデオカメラを可変速再生中または可変速再生から再生に戻したときなどに音声にノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。
●本機の録画中は、i.LINK 接続機器および DV 接続機器の再生はできません。

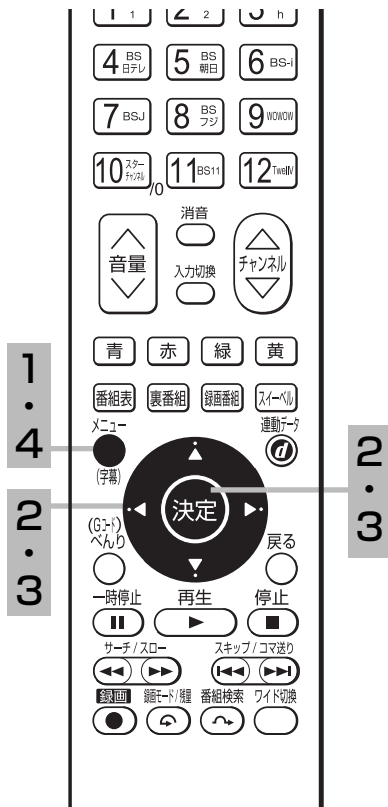
i.LINK 操作画面の説明

操作ボタンは で選び、決定ボタンを押すと、操作が始まります。

他の機器の映像を楽しむ

いろいろな調節・設定・確認をしたいとき

映像をお好みに合わせて設定する

映像の自動調整モードを選ぶ

設置場所や映像内容に合わせて「スーパー」、「スタンダード」、「シネマティック」の 3 つからお好みの映像を選ぶことができます。

1 メニューボタンを押す

2 ◯で「映像モード」を選び、◯または決定ボタンを押し、◯で設定する

モードは下図のように切り換わります。

スーパー / スタンダード / シネマティック

3 設定が終了したら◯または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

メ　モ

映像モードは、メニューの「映像」設定画面で選ぶこともできます。117

各機能について

スーパー

- 鮮明でコントラストのある画像に調整します。
- 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

スタンダード

- 標準的な画像です。
- ご家庭で通常のテレビ番組、ビデオの再生などを楽しむときに適したモードです。

シネマティック

- 黒補正、LTI、CTI など、お好みに合わせてより細かな設定ができます。118 119
- 映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適したモードです。

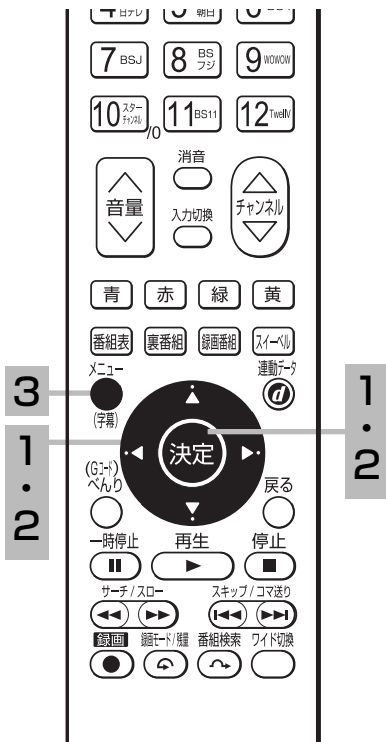
メ　モ

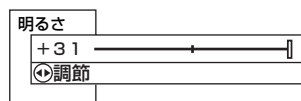
映像モードについて

- 映像モードは地上アナログ放送やデジタル放送 (iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の各入力モードごとに設定することができます。
- 各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。117
- ご家庭でご覧になる場合は、「スタンダード」をお勧めします。
- 映像モードを切り換えるとき、一時画面が暗くなる場合があります。これは、映像設定内容が変化したときに映像の乱れなどを見えにくくするためのものです。

明るさ、黒レベルなどの設定

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

6 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、または で設定する

（例）明るさを調節する場合

で調節します。

映像設定 項目	または		設定のポイント
映像モード	スーパー / スタンダード / シネマティック		設置場所や映像内容に合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく。
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに。（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように。
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ。
色温度	低 / 中 / 高		室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。
（液晶テレビのみ）バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

- 各映像設定項目は、地上アナログ放送やデジタル放送 (iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の各入力モードごとに設定することができます。
- 明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度、バックライトは映像モードごとに設定することができます。
- 「バックライト」の項目は液晶テレビの場合のみ表示されます。

2 設定が終了したら または決定ボタンを押す

- 他の項目を設定するときは、手順 1、2 をくり返します。
- 設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- 明るさは、調節値が＋ 31 のときに ボタンを押し続けると、＋ 32 ～＋ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋ 31 までの範囲内でお使いください。
- ビデオ、DVD プレーヤー、テレビゲーム機器等の静止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する 137、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。(プラズマテレビ)
- 消費電力低減（強）に設定しているときは、明るさ（プラズマテレビ）またはバックライト（液晶テレビ）の調節はできません。131

映像をお好みに合わせて設定する

ディテール、コントラストなどの設定

お好みに合わせてディテール、コントラスト、色温度調節の設定ができます。さらに映像モードで「シネマティック」を選んでいるときは、黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR の設定ができます。

6 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像設定」画面の 2 ページ目を表示させる

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

（例）コントラストを設定する場合
で設定します。

コントラスト
■リニア
□ダイナミック
設定

映像設定 項目		設定のポイント
ディテール	切 / 入	ビデオ入力またはデジタル放送で映像がギラギラしたり、ノイズが目立つ場合は「切」にします。
コントラスト	リニア / ダイナミック	「リニア」：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。 「ダイナミック」：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。
黒補正	切 / 弱 / 中 / 強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切 / 弱 / 中 / 強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切 / 弱 / 中 / 強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
YNR	切 / 弱 / 強	輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR	切 / 弱 / 強	色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
色温度調節	する / しない	色温度調節機能のする / しないを選択します。「する」のときはお好みに合わせて色温度を調節できます。119
標準に戻す	はい / いいえ	「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●地上アナログ放送やデジタル放送 (iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の各入力モードごとに設定することができます。
●ディテール、コントラスト、色温度調節は、映像モードごとに設定できます。
●黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR は、映像モードの設定が「シネマティック」のときに設定できます。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

コントラストについて (プラズマテレビ)
●消費電力を低減 (強) または (弱) に設定しているときは、設定できません。131

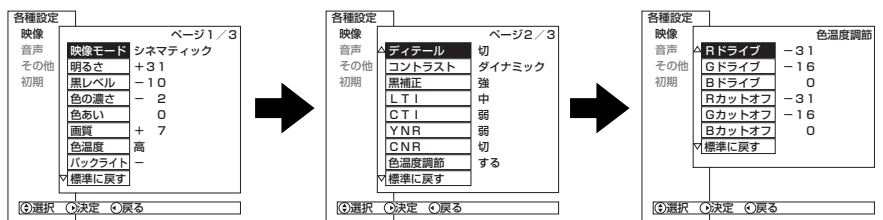
ディテールについて
●地上アナログ放送をご覧になっているときは設定できません。

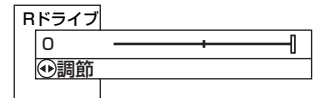
色温度の調節

色温度調節「する」118のときは、お好みに合わせて色温度を調節することができます。

6の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「色温度調節」画面を表示させる

「色温度調節」画面は、2ページ目と3ページ目の間に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で調節する

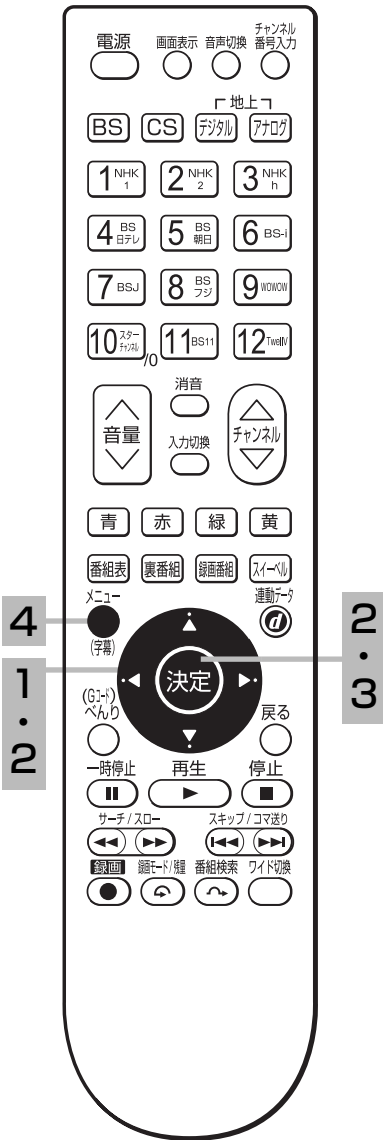
（例）Rドライブを調節する場合

で調節します。

映像設定 項目	→または		調節のポイント
Rドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	－62～0 調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	－62～0 調節しない	
Bドライブ	明るい部分の青がおさえられる	－62～0 調節しない	
Rカットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	－31～+31 暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	－31～+31 暗い部分が緑っぽくなる	
Bカットオフ	暗い部分の青がおさえられる	－31～+31 暗い部分が青っぽくなる	
標準に戻す	はい／いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、調節量が0に戻ります。

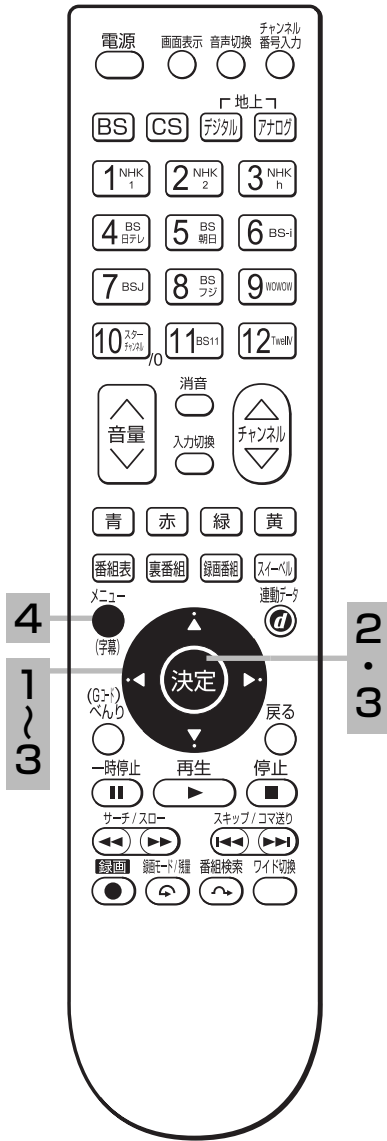
色温度調節は 117 で選んだ色温度「低、中、高」のモード毎に調節できます。

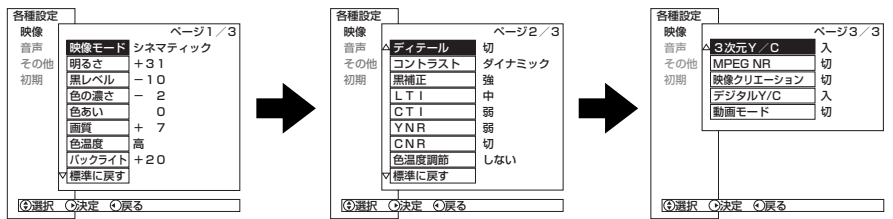
3 設定が終了したら決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

映像をお好みに合わせて設定する

3 次元 Y/C、映像クリエーションなどの設定

ご覧になる映像内容に合わせて、3次元Y/C、MPEG NR、映像クリエーション、フィルムシアター、デジタル Y/C、動画モードの設定ができます。
（映像クリエーション / デジタル Y/C/ 動画モード：L37-X01 のみ、フィルムシアター：P42-HV01 のみ）

6 の操作で「各種設定」の「映像」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像設定」画面の 3 ページ目を表示させる

色温度調節を「する」に設定しているとき 118、映像設定の 3 ページ目は、色温度調節画面の次に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

3次元Y/C
■ 入
□ 切
設定

（例）3 次元 Y/C を設定する場合

で設定します。

映像設定 項目	→	調節のポイント
3 次元 Y/C	入 / 切	ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
MPEG NR	切 / 弱 / 強	デジタル放送特有のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）などを軽減することができます。強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
映像クリエーション (L37-X01 のみ)	切 / なめらかシネマ / フィルムシアター	「なめらかシネマ」：映画フィルム素材を自動的に検知して、補間処理によりなめらかで美しいフィルム映像を再現します。 「フィルムシアター」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。
フィルムシアター (P42-HV01 のみ)	入 / 切	「入」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。
デジタル Y/C (L37-X01 のみ)	入 / 切	「入」に設定すると、映像のドット状ノイズや色のにじみを軽減することができます。映像により効果が少ない場合があります。
動画モード (L37-X01 のみ)	入 / 切	「入」に設定すると、動画時のぼやけを軽減できます。チラツキが感じられる場合は「切」でご使用ください。

● 「動画モード」は、映像モードごとに設定することができます。
● MPEG NR、映像クリエーション、フィルムシアター、デジタル Y/C、動画モードは、地上アナログ放送やデジタル放送（HDD 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の各入力モードごとに設定することができます。

メ モ

3 次元 Y/C 設定は、地上アナログ放送、外部入力（コンポジット入力）のときのみ設定できます。

3 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

3次元Y/C、MPEG NR、映像クリエーション、フィルムシアター、デジタルY/C、動画モードの設定は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

なめらかシネマ / フィルムシアターモードについて

映像内容により不自然な映像に見える場合があります。

- 映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。
- CMやアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。
- テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。
- ビデオ入力に外部機器を接続してご覧の場合、外部機器のOSD表示が細かい横スジ状に見えたりする。

これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、「切」でご覧ください。
なお、ワイドモードの設定により、映像のシーンに効果の違いが出る場合があります。
また、映像のシーンによっては効果がない場合もあります。

お知らせ

なめらかシネマモードでテレビを視聴中に、メニュー等のOSD表示やメッセージ表示を行った場合、表示中は一時的になめらかシネマモードをオフして、フィルムシアターモードに切り換わります。

映像特殊設定について

店頭展示用の設定です。通常は「しない」でお使いください。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像特殊設定」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でモードを選ぶ

で下記モードが選択できます。

「しない」　：通常モード
　通常はこのモードでお使いください。

「固定」　：映像設定の固定モード
　映像設定の操作はできません。

「デモ 1」　：デモモード（P42-HV01 のみ）

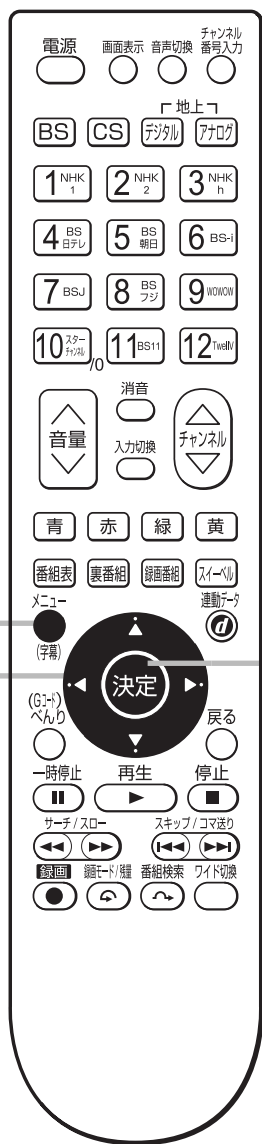
「デモ 1 〜デモ 5」：デモモード（L37-X01 のみ）

●デモ機能は、店頭展示用のため予告なく変更することがあります。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

音声をお好みに合わせて設定する

音声モードを選ぶ

調節・設定・確認

メ モ

音声モードのお買い上げ時の設定について

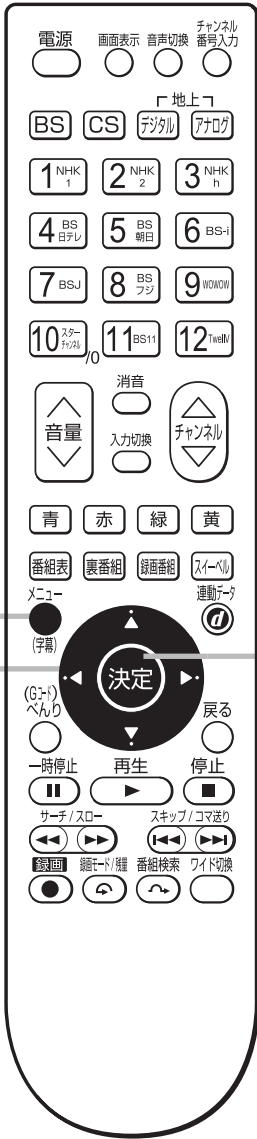
●ミュージックは高音、低音を強調した設定になっており、音楽放送に適しています。
●シアターは迫力と広がり効果のある設定になっており、映画放送に適しています。
●スポーツは音場の広がり効果のある設定になっており、スポーツ番組に適しています。

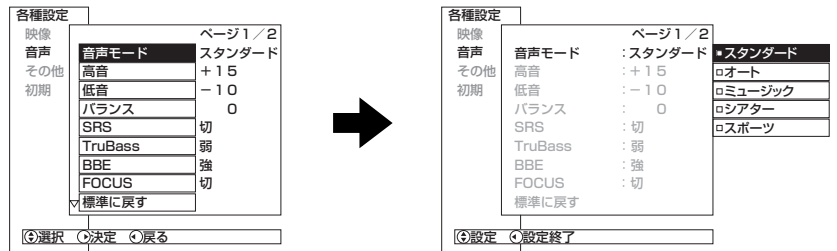
音声モードについて

●音声モードは、地上アナログ放送、デジタル放送（iVDR 再生含む）ごとに設定することができます。
●各音声モードについて、高音、低音、SRS、TruBass、BBE、FOCUS はお好みの音声に設定できます。
●「オート」設定時は、デジタル放送の放送内容により自動的に音声モードが選択されます。この時は、高音、低音、バランス、SRS、TruBass、BBE、FOCUS は設定できません。
●「オート」設定時は、自動的に音声モードが選択されますが、このとき音声にミュートがかかります。
●アナログ放送、外部入力視聴時は「オート」には切り換えできません。

音声をお好みに合わせて設定する

高音、低音などの設定

お好みに合わせて音声モード、高音、低音、バランス、SRS、TruBass、BBE、FOCUS などの設定ができます。

6 の操作で「各種設定」の「音声」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

音声設定 項 目			設定のポイント
音声モード	スタンダード / オート / ミュージック / シアター / スポーツ		映像内容に合わせて設定します。
高　音	高音がおさえられる	高音が強調される	それぞれ－15～＋15までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
低　音	低音がおさえられる	低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（－）	右スピーカーの音が強調される（＋）	－30～＋30までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。 一度設定すると、そのまま記憶されます。
SRS	切 / ノーマル / ワイド		音場を拡大することができます。お好みの設定にします。
TruBass	切 / 弱 / 強		低音を強調する効果量を調節できます。お好みの設定にします。
BBE	切 / 弱 / 強		クリアな音質を再現します。お好みの設定にします。
FOCUS	切 / 弱 / 強		効果量を調節できます。お好みの設定にします。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

2 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 1、2 をくり返す。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- 高音、低音設定を上げている場合や BBE や TruBass を強に設定している場合、音量が大きいと音声が歪む場合があります。その場合には設定を変えたり効果を弱めてください。
- サブウーハーをご使用になる場合には TruBass の設定を「切」にすることをおすすめします。

メ　モ

音声設定の効果について

● TruBass

TruBass の効果を切り換えることにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感などをお好みの設定にできます。

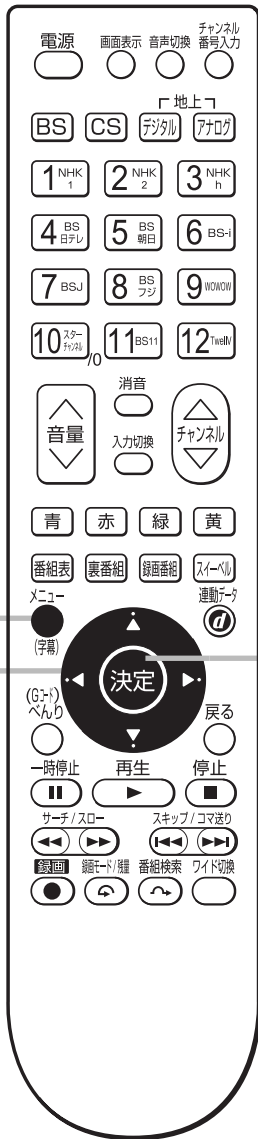
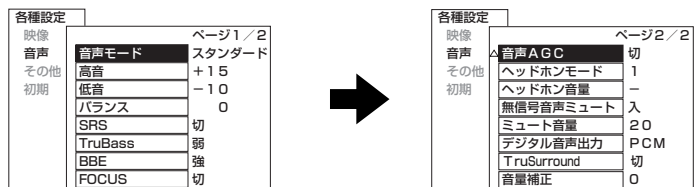
● FOCUS

音像を上部に移動することにより、より自然でリアルな音を再生することができます。また、音の輪郭をはっきりさせることで、ニュースなどの話し声が更に聞き取りやすくなります。

音声をお好みに合わせて設定する

音声 AGC、ヘッドホンモードなどの設定

音声 AGC（音量の自動調節）、ヘッドホンモード、ヘッドホン音量などの設定ができます。

6 の操作で「各種設定」の「音声」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「音声設定」画面の 2 ページ目を表示させる

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

音声設定 項目	→	設定のポイント
音声 AGC	入 / 切	「入」にすると、チャンネル間や番組間の音量の差を自動的に調整して聞きやすい音にします。
ヘッドホンモード	1/2	「1」: ヘッドホンをご使用になるとき、スピーカーから音が消えます。2 画面時は、選択した画面の音が出ます。 「2」: ヘッドホンをご使用になっても、スピーカーからも音が出ます。2 画面時は、右側の画面の音が出ます。
ヘッドホン音量	音量が小さくなる（最小 0） / 音量が大きくなる（最大 60）	ヘッドホンモードが「2」のときに、ヘッドホンの音量をお好みの音量に合わせます。
無信号音声ミュート	入 / 切	「入」にすると、地上アナログ放送の無信号チャンネルを選択した場合などにノイズ音を出さないようにすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる（最小 0） / 音量が大きくなる（最大 60）	消音ボタンを押したときや無信号音声ミュートが働いたときの音量が変わります。34
デジタル音声出力	AAC/PCM	光デジタル音声出力フォーマットを設定します。 「AAC」:MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。 「PCM」:MPEG-2 AAC に対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただし、サンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
TruSurround	入 / 切	「入」: デジタル放送のときサラウンド効果のある音声が出力されます。 「切」: デジタル放送のときサラウンド効果のない、そのままの音声が出力されます。
音量補正	-10 ～ 0 ～ +10	放送や外部機器間の音量レベルに差があるときに設定します。

3 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 1 、 2 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

ヘッドホンモードについて

●ヘッドホンモードを「1」から「2」に切り換えると、ヘッドホン音量は音量ボタンで調節した音量と同じ数字に書き替わります。

●ヘッドホンモードを「2」から「1」に切り換えると、音量ボタンで調節した音量は、直前のヘッドホン音量と同じ数字に書き替わることがあります。

メ モ

●ミュート音量

消音ボタンを押したときや無信号音声ミュートが働いたときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
ただし、音量ボタンで調節した音量より大きい値にした場合は、消音ボタンを押しても音量は変わりません。

●ヘッドホンモード「2」の場合

ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

●無信号音声ミュート

地上アナログ放送の無信号チャンネルでも映像信号が漏れ込んでいる場合などでは、正しく動作しないことがあります。
モニター出力の音声には、無信号音声ミュートは働きません。

●デジタル音声出力の設定について

地上アナログ放送やビデオ入力をご覧になっているときの光デジタル音声は、「デジタル音声出力」の設定にかかわらず「PCM」を出力します。

● TruSurround について

TruSurround は、5.1 チャンネルサラウンド音声を前方に配置した 1 対のステレオスピーカーのみで再生するバーチャルサラウンドシステムです。放送内容によっては、効果が少ない場合があります。より広がりのあるサラウンドをお楽しみになりたい場合は、「TruSurround」を「切」にして「SRS」を「ワイド」に設定してください。モノラル放送では効果はありません。

●音量補正の設定について

アナログ放送やデジタル放送、および各入力端子ごとに音量を微調することができます。

ワイド画面を調節する

画面サイズの調節

画面の垂直サイズ、水平サイズを微調することができます。
映画などで上下に黒帯が残る場合や画面の両端に黒帯が見える場合などに、黒帯を少なくすることができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 で「画面サイズ微調」を選び、または決定ボタンを押す

3 でお好みのサイズに調節する

で画面の垂直サイズを調節できます。
で画面の水平サイズを調節できます。

+10 + 1
垂直画面サイズ　水平画面サイズ

●画面サイズは、ワイドモード毎に調節することができます。
●調節した画面サイズは、電源を切っても記憶されています。

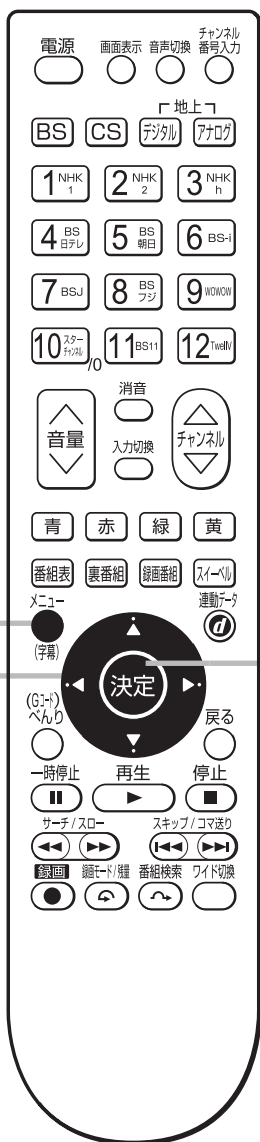
4 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

または決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

お知らせ

デジタル放送(iVDR再生含む)の1125i (1080i)ハイビジョン放送やコンポーネント/HDMI入力端子に入力した1125i (1080i)信号を「フル」または「ズーム1」のワイドモードでご覧になっているときは、垂直画面サイズを+1まで微調することができます。画面上部の黒帯が気になる場合や、W-VHSビデオをご覧になる場合は、画面サイズを+1にします。この画面サイズ+1は、電源を切ると標準サイズに戻ります。

画面位置の調節

画面を上下左右に移動することができます。
「映画 1」、「映画 2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

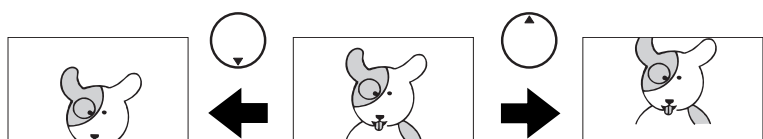
2 ◯で「画面位置」を選び、◯または決定ボタンを押す

3 ◯でお好みのサイズに調節する

画面位置
＋ 9　　0
調節

◯で垂直画面位置が調節できます。
◯で水平画面位置が調節できます。

垂直画面位置　水平画面位置

垂直画面位置調節の場合

垂直画面位置－５　　垂直画面位置０　　垂直画面位置＋５

●画面位置は、ワイドモード毎に調節することができます。
●調節した画面位置は、電源を切っても記憶されています。

4 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

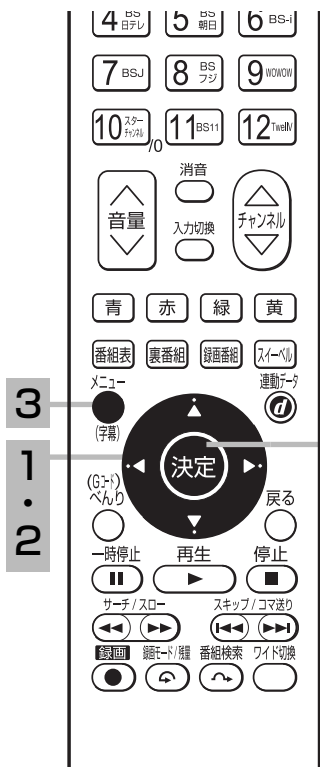
◯または決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

調節・設定・確認

お知らせ

デジタル放送 (iVDR 再生含む) の 1125i(1080i)、750P(720P) 放送やコンポーネント /HDMI 入力端子に入力した 1125i (1080i)、750P(720P) 信号をご覧になっているとき、ワイドモードが「フル 2」のときは、画面位置の調節はできません。

ワイド画面を調節する

ビデオなどで自動的にワイドモードを切り換えるには

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の2ページ目を表示し、で「ワイド制御信号検出」を選び、または決定ボタンを押す

液晶テレビのときは、「スクリーンセーバー」の項目が「背景色」となっています。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押す

で「する」または「しない」を選ぶ

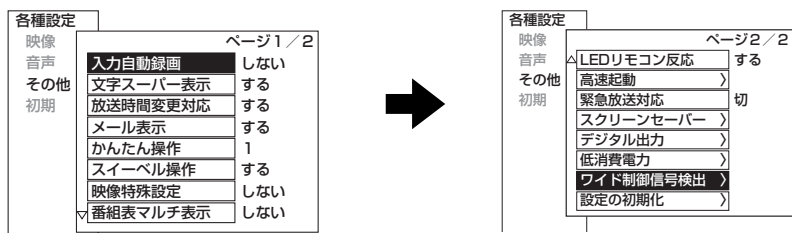
設定項目	→	設定のポイント
ID-1 検出	する / しない	「する」：画面サイズの識別信号を検出すると画面サイズを自動的に切り換えます。 「しない」：正しく動作しない場合は「しない」にします。
S2 端子検出	する / しない	
D4 端子検出	する / しない	
HDMI 端子検出	する / しない	

ワイド制御信号検出は、地上アナログ放送またはビデオ入力モード毎に設定することができます。

3 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

または決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

お知らせ

ワイド制御信号検出を「する」でご使用になる場合、映像の切り換わりなどで一時画面が暗くなる場合がありますが、これは映像の乱れやノイズなどを見えにくくするためのものです。

メモ

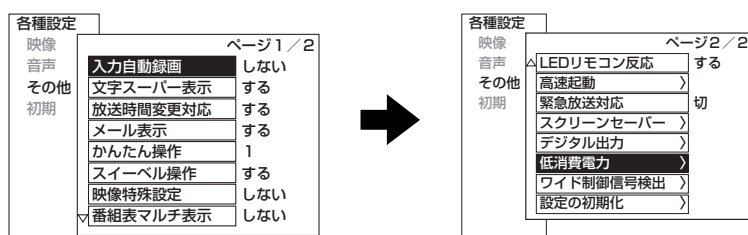
● **ID-1 について**
DVD などの 525i(480i) 信号映像に、アスペクト比制御情報 (ID-1) が付加されている場合、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

● **S2 端子について**
S2 ビデオ入力端子 (ビデオ 1,4) からアスペクト比制御信号の入った映像信号が入力されると、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

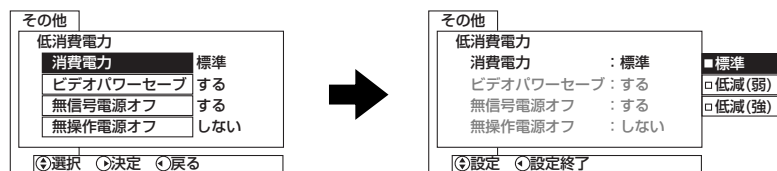
● **D4 端子について**
コンポーネント入力端子 (ビデオ 2,3) から、D4 端子ケーブルでアスペクト比制御信号が入った 525i(480i)、525p(480p) 映像信号が入力されると、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

● **HDMI 端子について**
HDMI(High Definition Multimedia Interface) または DVI(Digital Visual Interface) 信号のアスペクト比情報を検知すると、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

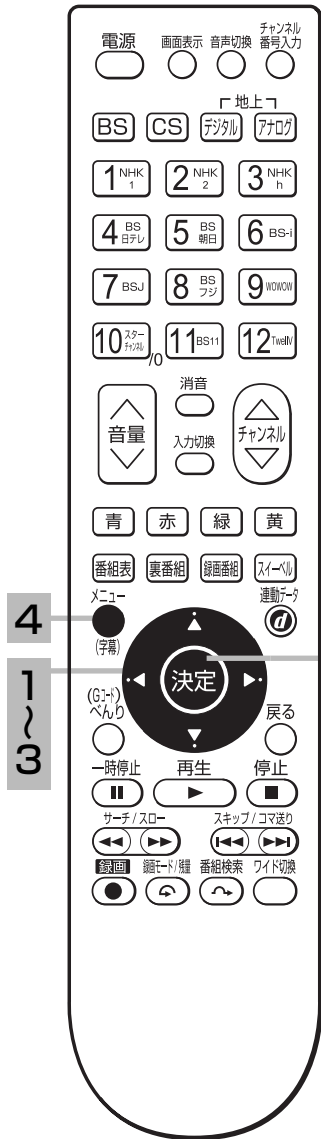
消費電力を低減する

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の2ページ目を表示し、で「低消費電力」を選び、または決定ボタンを押す

液晶テレビのときは、「スクリーンセーバー」の項目が「背景色」となっています。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

設定項目		設定のポイント
消費電力	標準 / 低減 (弱) / 低減 (強)	明るさを抑えることにより、消費電力を低減することができます。
ビデオパワーセーブ	する / しない	「する」に設定すると、ビデオ入力信号が無い状態が約 10 秒間続くと、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。(①準備編 127)
無信号電源オフ	する / しない	「する」に設定すると、地上アナログ放送が終了して映像信号が無くなったときに、約 10 分後に自動的に電源を「切」にします。
無操作電源オフ	する / しない	「する」に設定すると、リモコンや本体操作のない状態が約 2 時間以上続くと、自動的に電源を「切」にします。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

消費電力について

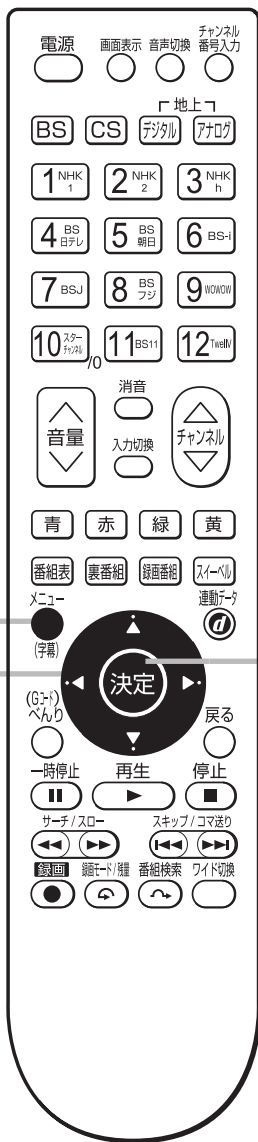
●低減（強）に設定しているときは、明るさ（プラズマテレビ）またはバックライト（液晶テレビ）の調節はできません。117

●低減 (強) または (弱) に設定しているときは、コントラスト (プラズマテレビ) の設定はできません。118

無信号電源オフについて

無信号状態でも映像信号が漏れ込んでいる場合などでは、正しく動作しないことがあります。

オフタイマーで自動的に電源を切る

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
おやすみのときなどにご利用ください。

1 メニューボタンを押す

2 で「オフタイマー」を選び、 または決定ボタンを押す

3 でお好みの時間を設定する

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

切 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分

●オフタイマーの設定時間は 30 分間隔で最大 120 分までです。
●時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

4 設定が終了したら または決定ボタンを押す

オフタイマーを確認・変更 / 解除したいとき

① 1 ・ 2 の操作を行います。
　オフタイマーの残量時間が 1 分間隔で確認できます。
②オフタイマーを変更 / 解除するときは、「変更 / 解除」を選択し、 3 の操作で設定時間変更または「切」に設定します。
③ 4 の操作で画面表示を消します。

オフタイマー動作まで
あと 25分
□変更／解除
■戻る
選択 決定 戻る

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

6 電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

お知らせ

●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

かんたん操作機能をご使用になるには

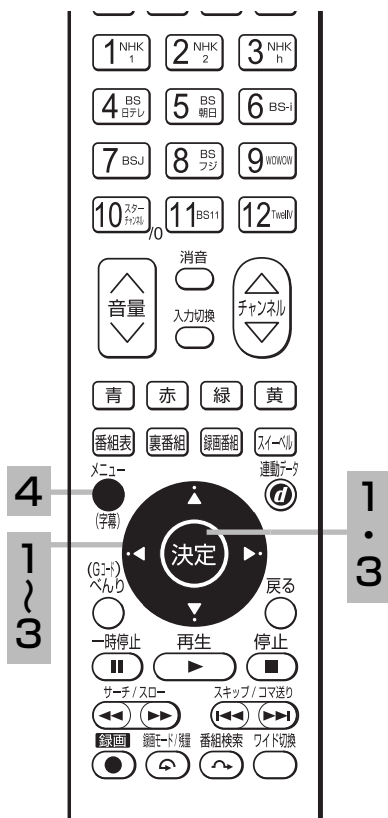
ビデオデッキや DVD プレーヤーなど、本機と接続したお手持ちの外部機器のリモコン操作を、本機のリモコン送信機を用いて本機のリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機と離れた場所に設置したときなど、画面を見ながら操作したいときに便利です。
かんたん操作機能を使用して外部機器を操作するには、あらかじめ IR コントローラーの接続と取り付けが必要です。接続方法については、別冊の取扱説明書 (①準備編 51) をご覧ください。

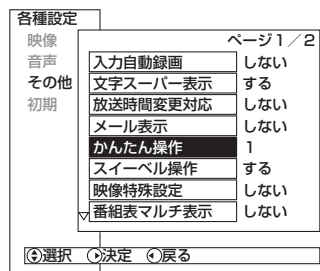
かんたん操作機能について

かんたん操作機能 105

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
あらかじめ接続する外部機器を IR コントロール設定画面で登録しておく必要があります。(①準備編 122)

リモコンスルー機能 107

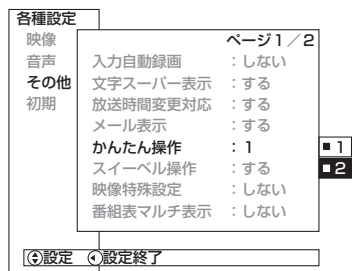
お手持ちの外部機器を外部機器付属のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作することができます。
テレビに接続した外部機器を離れた場所に設置したときなどに使用します。

かんたん操作モードを切り換える

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「かんたん操作」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でお好みのモードを選ぶ

で下記モードが選択できます。

1/2

「1」: かんたん操作機能のみご使用になれます。
「2」: かんたん操作機能とリモコンスルー機能が併用できます。
●テレビから離れたところにある外部機器を操作したいときは､「2」に設定します。
●お買い上げ時のかんたん操作モードは、「1」が設定されています。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

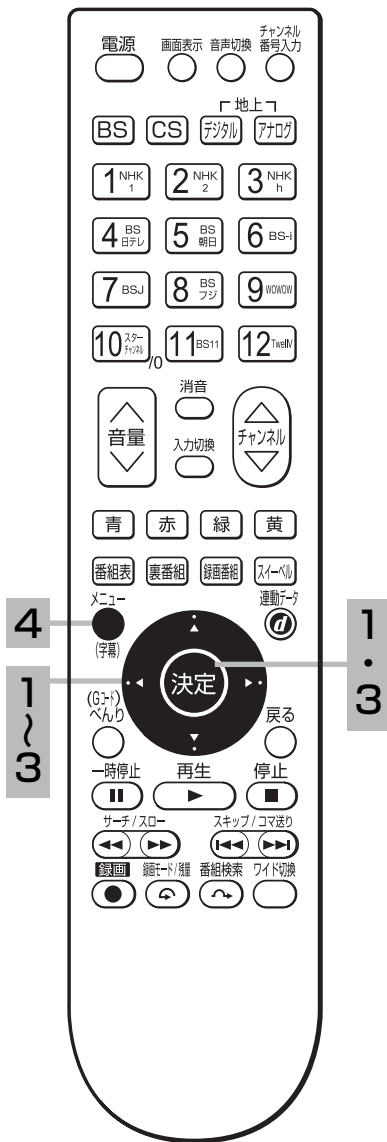
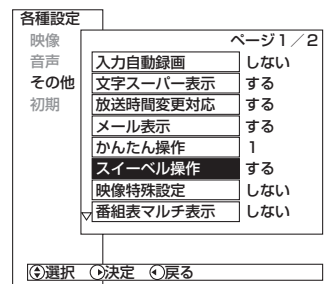
お知らせ

- ●かんたん操作機能をご使用になるには、IR コントローラーの本機への接続と外部機器への取り付けが必要です。(①準備編 51)
- ●ご使用になる外部機器によっては、かんたん操作機能を使って操作できないこともあります。このようなときは、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。
- ●予約録画実行中のときは、かんたん操作機能をご使用になれません。

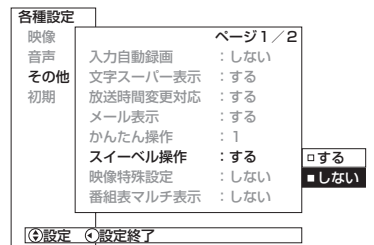
スイーベル機能をご使用にならないとき

スイーベル機能をご使用にならないときや、小さなお子様などにいたずらされないようにするときなどに、スイーベル機能を動作しないようにできます。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ▲▼で「スイーベル操作」を選び、▶または決定ボタンを押す

2 ▲▼でお好みのモードを選ぶ

▲▼で下記モードが選択できます。

する / しない

「する」: スイーベル機能をご使用になれます。
「しない」: スイーベル機能はご使用になれません。

- スイーベル機能をご使用にならないときや、小さなお子様などにいたずらされないようにするときは、設定を「しない」にします。
- お買上げ時のスイーベル操作は「する」が設定されています。

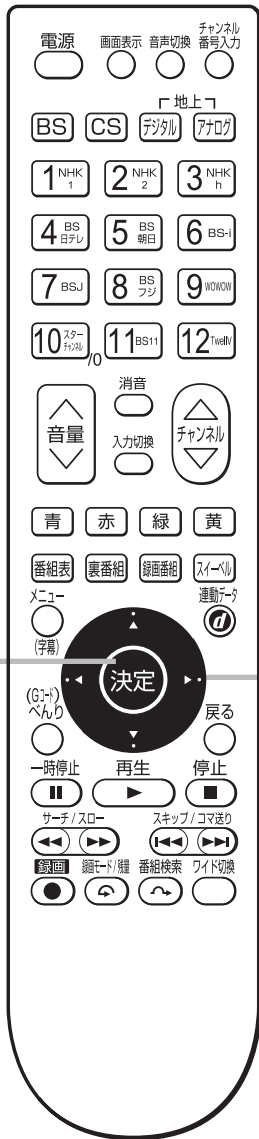
3 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

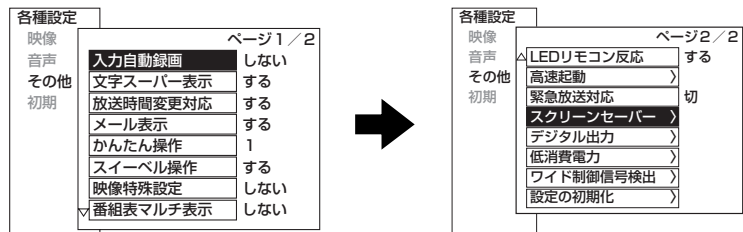
メ モ

「スイーベル操作」の設定が「しない」のとき、リモコンのスイーベルボタンを押すと"操作できません"また、モニター後面の専用スタンド接続端子から専用接続ケーブルが外れている場合は、"使用できません"と表示されます。

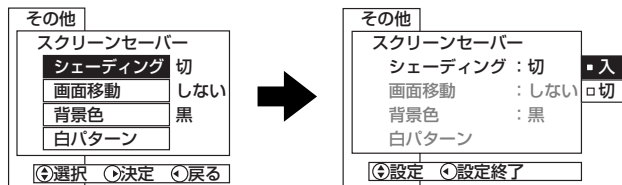
スクリーンセーバーをご使用になるには

データ放送、写真を見る、ゲーム機など長時間同じ画像（動きの少ない画像）をご覧になる、または繰り返し表示させた場合､焼き付き現象が出る場合があります。この場合､このスクリーンセーバーをご使用になると低減することができます。
液晶テレビの場合は「背景色」のみ設定できます。138

P42-HV01 のとき

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の２ページ目を表示し、で「スクリーンセーバー」を選び、または決定ボタンを押す

2 シェーディング機能

放送局のロゴ表示などによる焼き付き現象を生じにくくするための機能です。四すみの輝度は中央部より低くなります。

で「シェーディング」を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

で下記モードが選択できます。

切 / 入

「切」: シェーディング機能が働きません。
「入」: シェーディング機能が働きます。

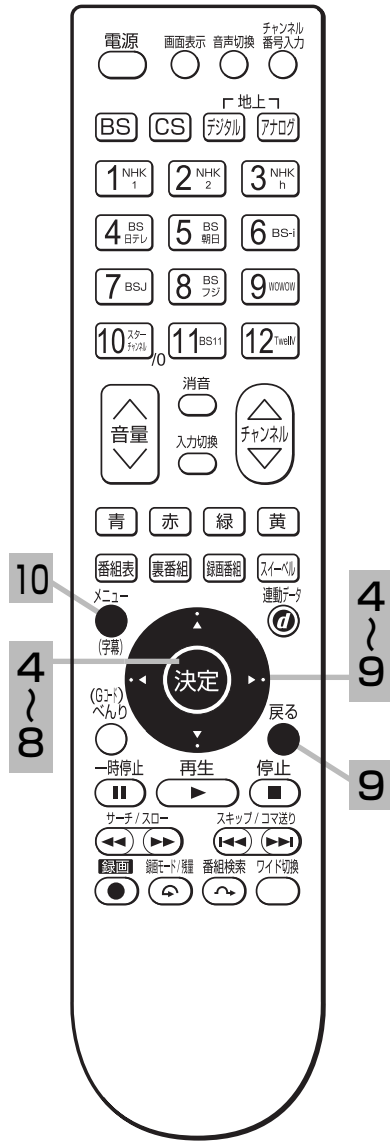
3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

（次ページにつづく）

お知らせ

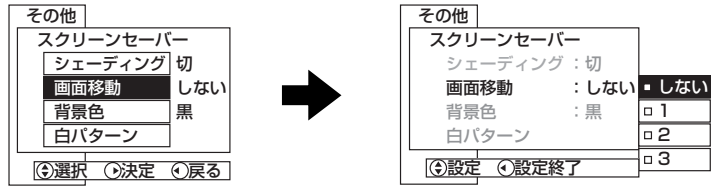
焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する137、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは、完全には消えません。

メ モ

シェーディング機能について
映像モード (スーパー / スタンダード / シネマティック) 毎に設定できます。116

4 画面移動機能

焼き付き現象を生じにくくするために、画面を 1 画素ずつ移動させせます。動きの少ない画像のときは「1」を選択してください。
●お買い上げ時は「1」に設定されています。

で「画面移動」を選び、 または決定ボタンを押し、

で設定する

で下記モードが選択できます。

しない/1/2/3

「しない」: 画面移動しない
「1」: 2 分おきに移動する
「2」: 10 分おきに移動する
「3」: 20 分おきに移動する

●ワイドモードが「フル 2」28に設定されているときは、画面移動機能は働きません。

5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

メ モ

背景色について

「オート 1」:
ノーマルワイドの画面、2 画面の背景を映像部分との明るさの差が少ないグレーにします。また、デジタル放送や 1125i(1080i) コンポーネント入力で、画面の左右に黒い背景がついた 4:3 映像などをご覧のときは、背景色を自動的にグレーにします。

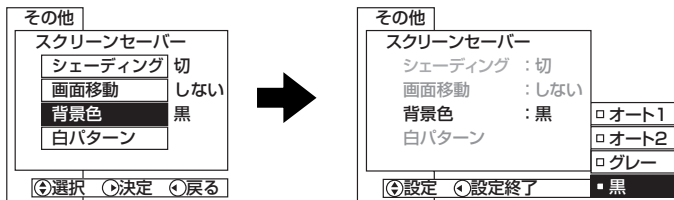
「オート 2」:
「オート 1」よりも効果を大きくしたモードです。画面左右の背景の上部または下部に、放送局のロゴマークなどが表示されている場合でも背景をグレーにします。

「グレー」:
デジタル放送や 1125i(コンポーネントビデオ入力) 時、4:3 映像検出による背景色の自動設定は行ないません。背景色をオリジナルにしてご覧になるときに設定します。

「黒」:
背景色を黒にします。暗い部屋で映像を楽しむときなど背景部分を暗くしてご覧になるときに設定します。

6 ノーマルワイドや 2 画面の焼き付きが生じにくくする場合

ノーマルワイドでご覧になるときの左右の背景（画像のない部分）や 2 画面の上下の背景などをご覧になるときの背景の明るさを選択します。
●お買い上げ時は「オート 1」に設定されています。

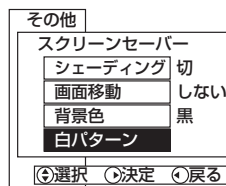
で「背景色」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で次のようにモードが切り換わります。

オート 1 / オート 2 / グレー / 黒

通常は「オート 1」または「オート 2」でご使用ください。「グレー」や「黒」の設定で長時間ご覧になると映像部分のみが焼き付いてしまうことがあるのでご注意ください。

7 設定が終了したら または決定ボタンを押す

8 軽度の焼き付き現象が生じた場合

で「白パターン」を選び、 または決定ボタンを押す

軽度の焼き付きの場合は、数 10 分から数時間継続表示することで、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
別紙の「プラズマテレビを上手にご使用いただくために」も合わせてご覧ください。

9 白パターンを終了するときは、 または戻るボタンを押す

10 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

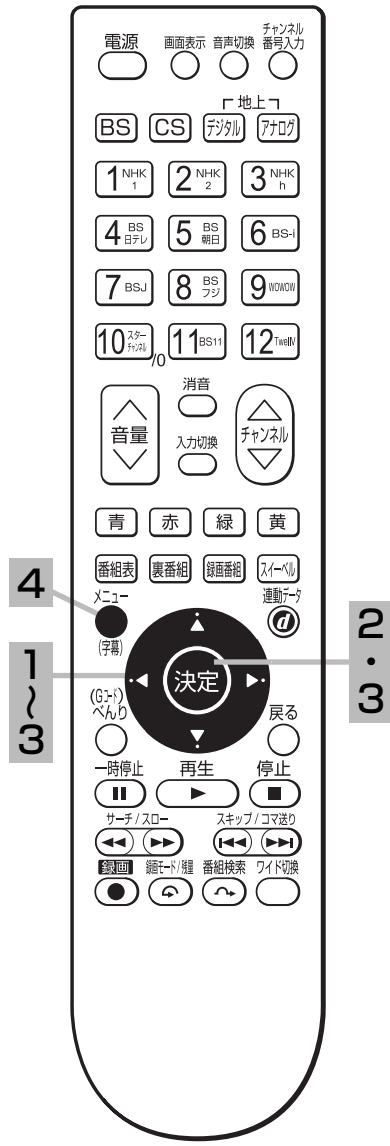
デジタル放送や 1125i(1080i) HDMI/ コンポーネント入力時の背景色「オート 1/2」動作について

●ビスタサイズやシネスコサイズの映像のように、上下の黒帯部分 (映像のない部分) はグレーになりません。
●オート動作するまでに約 10 秒かかります。また、暗い映像では時間がかかったり動作しない場合があります。
●背景部分が放送局側で着色されているような場合はオート動作しません。
●「オート 2」に設定していても、ロゴマークなどの表示位置によりオート動作しない場合があります。
●デジタル放送チャンネルを切り換えたり、デジタル関連の画面表示を出したりすると、オート動作は一時的にオフになります。
●オート動作により、放送内容によっては映像が欠けたり、黒背景が一部分残ったりすることがあります。

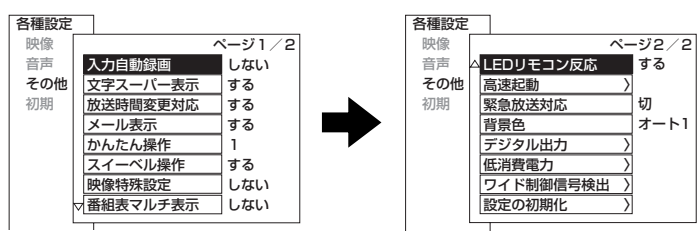
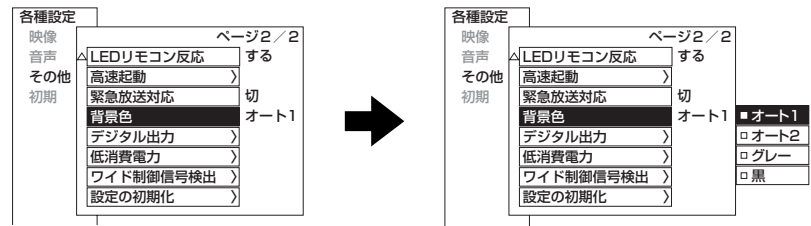
プラズマテレビの焼き付きについて

静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、ゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示させた場合、ノーマルワイドで長時間ご覧になった場合は、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
焼き付きを生じにくくするためには、下記をおすすめします。また、別紙の「プラズマテレビを上手にご使用いただくために」も合わせてご覧ください。

①映像が画面いっぱいになるようにワイドモードを調節する。
②ノーマルワイドでご使用の際は、背景色を「オート 1」または「オート 2」に設定する。
③同じ絵柄を長時間または繰り返し表示させない。

焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

L37-X01 のとき

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の 2 ページ目を表示させる

2 で「背景色」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で次のようにモードが切り換わります。
オート 1 / オート 2 / グレー / 黒

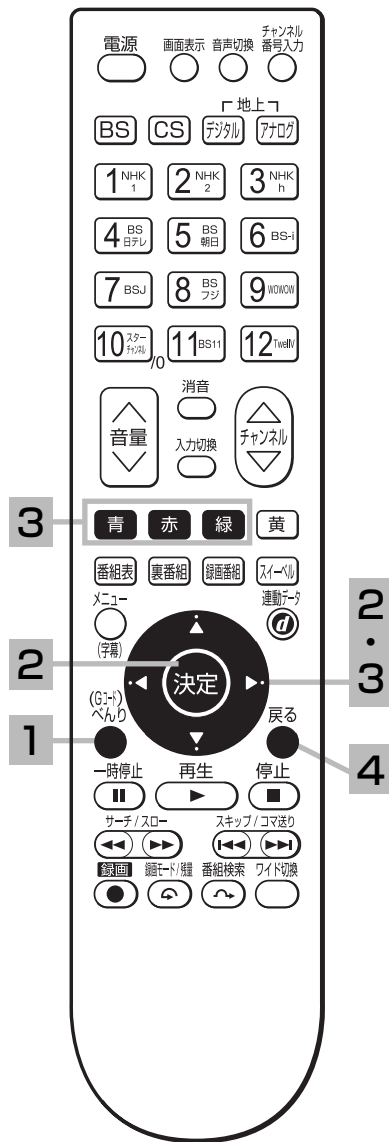
ノーマルワイドでご覧になるときの左右の背景（画像のない部分）や 2 画面の上下の背景などをご覧になるときの背景の明るさを設定します。

●お買い上げ時は「黒」に設定されています。お好みに合わせて「背景色」を設定してください。「背景色」詳細については、136（メモ）をご覧ください。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

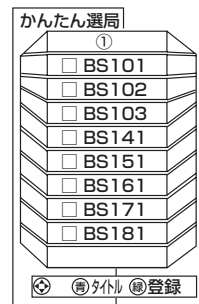
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

「かんたん選局」へ登録する

視聴しているチャンネルをかんたん選局へ登録することができます。

1 登録したいチャンネルを選局し、べんりボタンを押す

2 ◯で「かんたん選局」選び、決定ボタンを押す

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

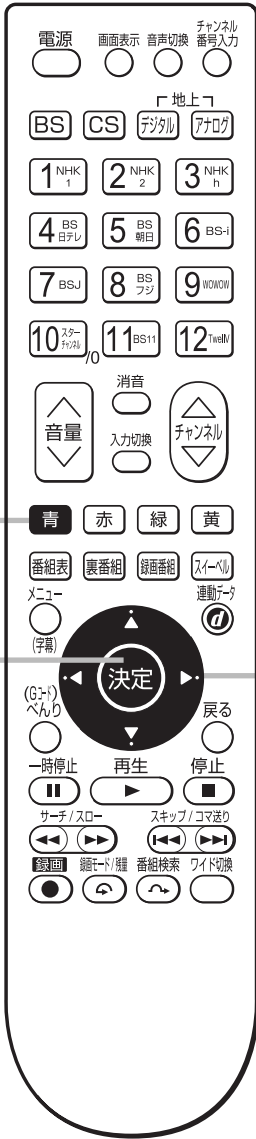
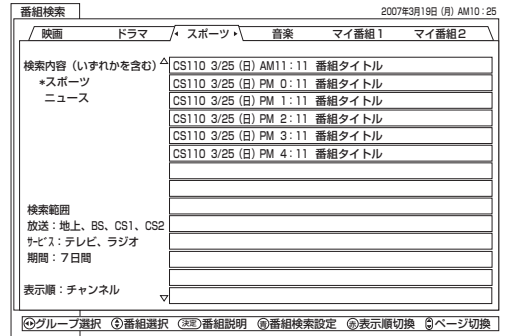
3 ◯で登録する場所を選び、緑ボタンを押す

- ●視聴中の放送のチャンネルを登録することができます。
- ●登録したチャンネルの放送中の番組名を表示させたいときは、青ボタンを押します。消すときは、もう一度青ボタンを押します。(地上アナログ放送では表示できません。)
- ●他のチャンネルを登録するときは、一度、そのチャンネルを選局してから登録してください。
- ●登録を削除するときは削除するチャンネルを選び、赤ボタンを押し、◯で「はい」を選び、決定ボタンを押してください。

4 戻るボタンを押す

かんたん選局登録を終了します。

お知らせ

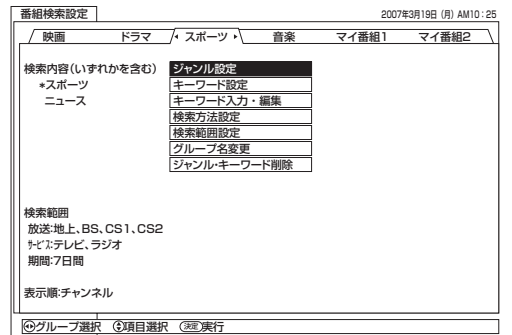
登録チャンネルを変更するときは、一度削除してから登録を行ってください。

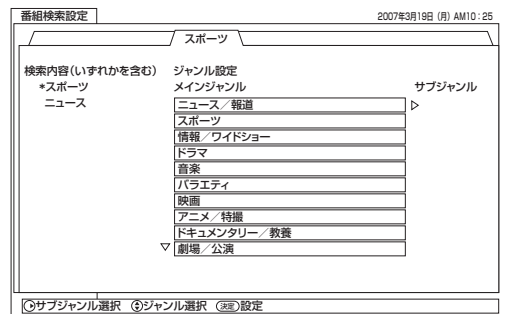
番組検索を設定する

1 次のいずれかの状態にする

番組説明表示中 24　　番組検索表示中 25

2 [青]ボタンを押す

番組検索設定画面が表示されます。

3 ◀▶で設定するグループを選び、▲▼で選択項目を選び、決定ボタンを押す

● 「映画」「ドラマ」「スポーツ」などそれぞれのグループ別に設定できます。

4 ジャンル設定の場合

▲▼でお好みのジャンルを選び、決定ボタンを押す

● ◀▶ボタンでメインジャンルとサブジャンルの切り換えができます。

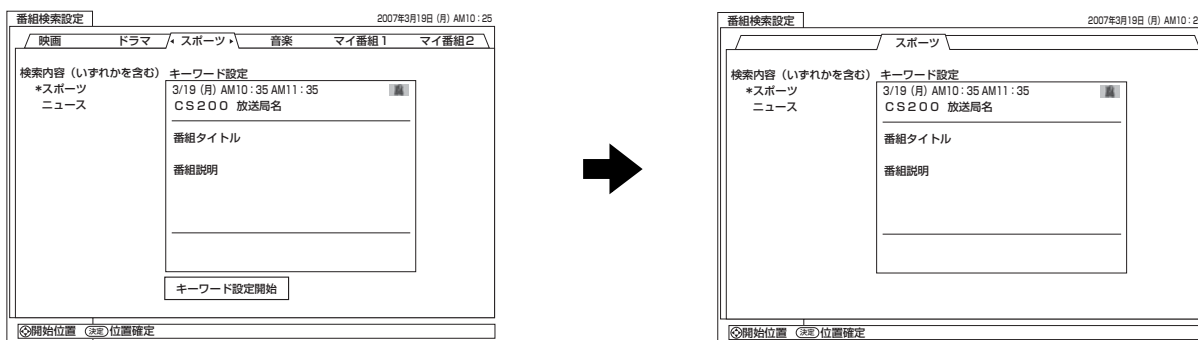
● 登録されたジャンル名の前には＊マークが表示されます。

● 終了する場合は、戻るボタンを押します。

4　キーワード設定の場合

キーワード登録できる番組名と番組説明が表示されます。

①決定ボタンを押し、（上下左右ボタン）で登録したキーワードの開始位置を選び、決定ボタンを押す

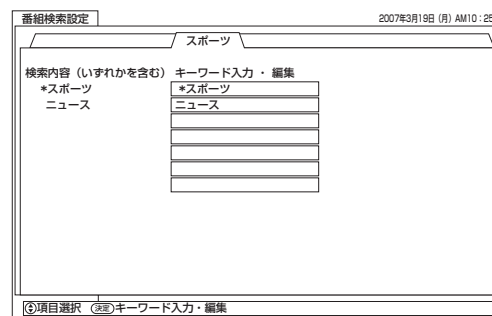
②（右ボタン）でキーワードの終了位置を選び、決定ボタンを押す

終了する場合は、戻るボタンを押します。

キーワード入力・編集の場合

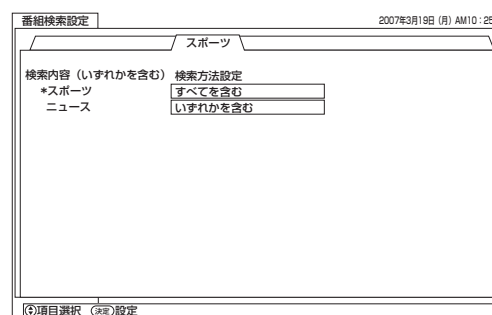
①（上下ボタン）で編集したいキーワードを選び、決定ボタンを押す

●何も表示されていない項目を選択した場合、新規での入力ができます。
●ジャンルの場合は、編集することはできません。

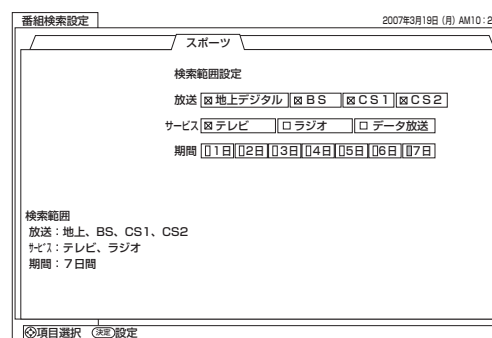
②文字を入力する

文字の入力方法については 95 ～ 102 をご覧ください。

検索方法設定

（上下ボタン）で検索方法を指定する項目を選び、決定ボタンを押す

すべてを含む　：設定されたキーワードまたはジャンルがすべて含まれている番組を検索したい場合（AND 検索）
いずれかを含む：設定されたキーワードまたはジャンルのいずれかが含まれている番組を検索したい場合（OR 検索）

検索範囲設定の場合

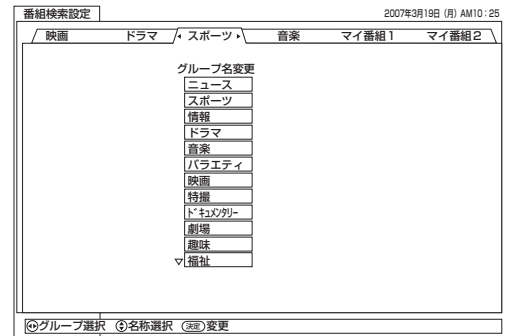
（上下左右ボタン）で検索範囲を指定する項目を選び、決定ボタンを押す

●放送と、サービスは複数の項目を選択することができます。
選択された項目は□内に×が表示されます。選択された項目を選んで決定ボタンを押すと、選択が解除されます。
●期間は選択された日にちの▯が白く表示されます。
● e2 by スカパー！の全番組を検索範囲に指定する場合は、CS1、CS2 の両方を選択してください。
●終了する場合は、戻るボタンを押します。

（次ページにつづく）

番組検索を設定する（つづき）

4 グループ名変更の場合

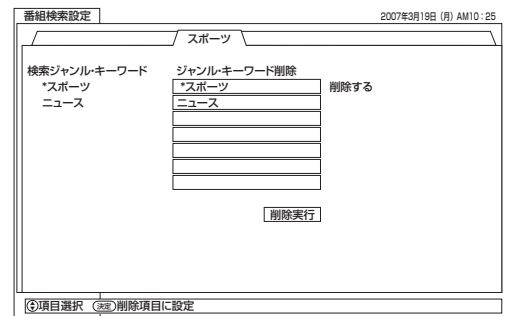
でグループ名を選び、決定ボタンを押す

終了する場合は、戻るボタンを押します。

ジャンル、キーワード削除の場合

①　で削除する項目を選び、決定ボタンを押す

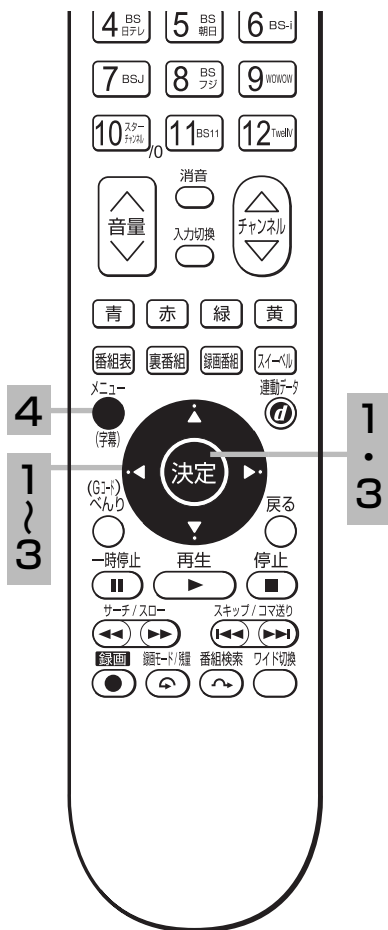
複数削除するときは同じことを繰り返します。

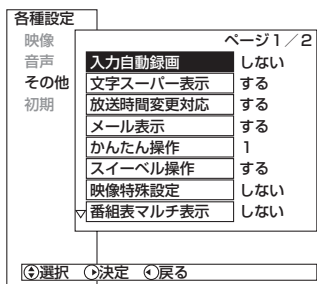
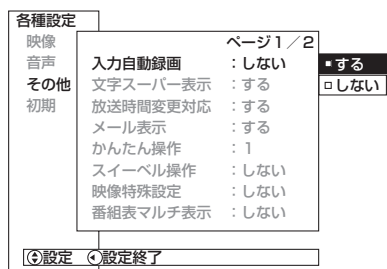
②　で「削除実行」を選び、決定ボタンを押す

- 「削除する」と表示された項目が削除されます。
- 終了する場合は、戻るボタンを押します。

5 戻るボタンを押す

終了します。

モニター出力に連動して録画する

入力自動録画に対応した外部機器をご使用になるときは、本機のモニター出力端子 (①準備編 41) に連動して外部録画機器に録画することができます。
外部録画機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「入力自動録画」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でお好みのモードを選ぶ

で下記モードが選択できます。

する / しない

する	録画予約の動作に連動して、モニター出力端子 (①準備編 41) から映像信号が出力されます。放送を視聴中は、モニター出力から映像信号は出力されません。入力自動録画機能をご使用になる場合に設定します。
しない	入力自動録画機能をご使用にならない場合に設定します。 お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

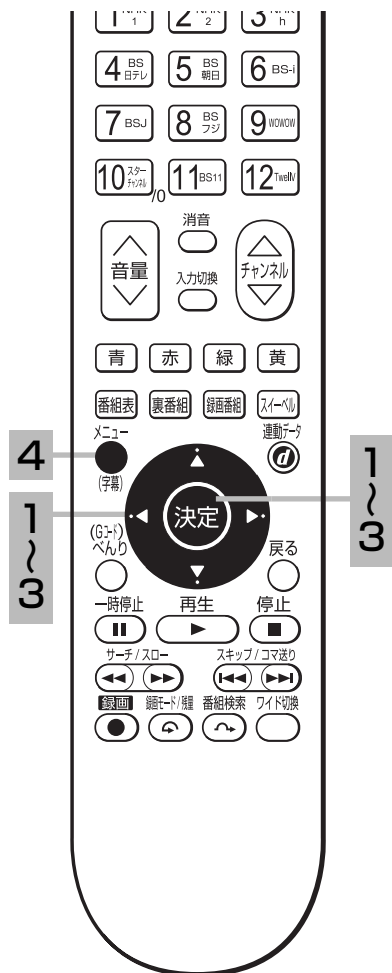
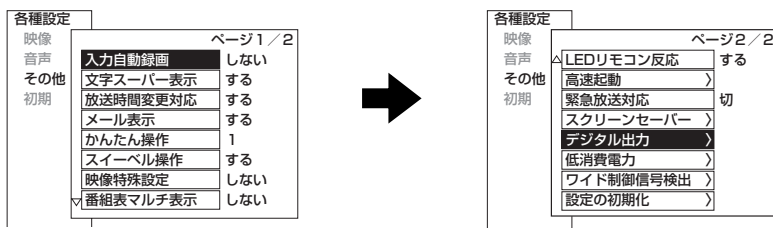
お知らせ

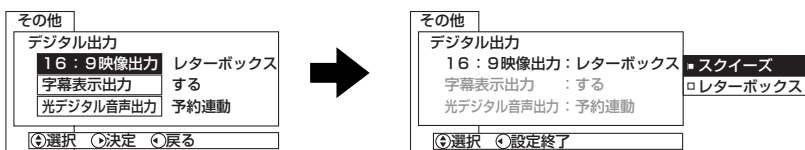
入力自動録画設定について

- 入力自動録画に対応した外部録画機器は、本機の映像信号出力を検知して録画を開始するため、番組の始まりが一部録画されないことがあります。
- 入力自動録画を「する」に設定している場合は、地上アナログ放送や外部入力を iVDR に録画中のときにもモニター出力から映像信号が出力されます。
- IR コントローラーによる録画 (①準備編 122) をご使用になる場合は、入力自動録画を「しない」に設定してください。IR コントローラーによる録画とは、同時にご使用になれません。

モニター出力のワイドモードなどを設定する

デジタル放送のワイド放送番組を外部録画機器で録画するときに、モニター出力のワイドモードを設定することができます。また、字幕表示出力を設定できます。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の２ページ目を表示し、で「デジタル出力」を選び、または決定ボタンを押す

液晶テレビのときは、「スクリーンセーバー」の項目が「背景色」となっています。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押す

で設定したい項目を選ぶ

設定項目	→	設定のポイント
16：9 映像出力	スクイーズ / レターボックス	「スクイーズ」: ワイド放送（16:9）の番組は、スクイーズ映像（横圧縮映像）が出力されます。録画した番組を本機、または本機以外のワイドテレビでご覧になるような場合に設定します。 「レターボックス」: ワイド放送（16：9）の番組は、上下に黒帯の付いた映像が出力されます。録画した番組を本機以外の４：３テレビでご覧になるような場合に設定します。 お買い上げ時は、「スクイーズ」に設定されています。
字幕表示 出力	する / しない	「する」: 字幕のある番組の場合、録画または予約録画中は視聴中の画面より優先してモニター出力に字幕表示が出力されます。字幕も録画したいときに設定します。 「しない」: 字幕表示が出力されません。 お買い上げ時は、「しない」に設定されています。
光デジタル 音声出力	視聴連動 / 予約連動	「視聴連動」: 現在視聴中の番組の音声を出力します。電源を切にすると出力されません。 「予約連動」: 録画予約実行中は、録画中の番組の音声を出力します。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 2、3 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

16：9 映像出力について

- ワイド放送（16：9）の番組を受信したときのみ有効になります。
- 番組表、データ放送画面は出力されません。

字幕表示出力について

- 外部録画機器で字幕も録画したいときは、字幕表示出力「する」に設定して、番組を予約する 49 で、字幕を選択します。
- 字幕表示出力を「する」に設定すると、録画または予約録画中は視聴中の画面には字幕は表示されません。

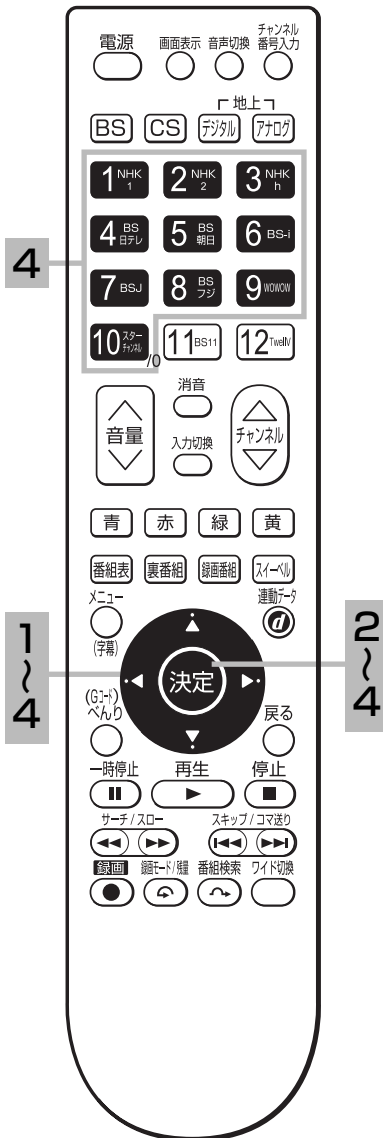
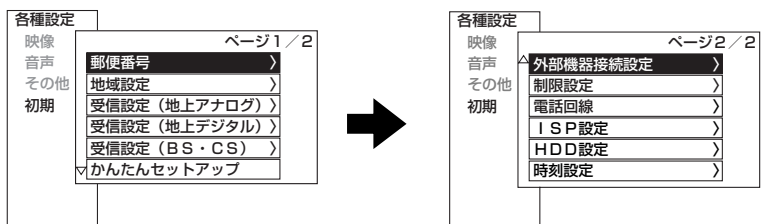
光デジタル音声出力について

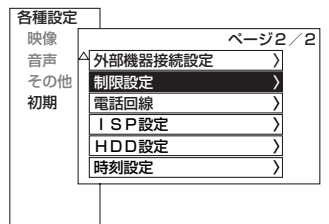
- 「予約連動」に設定している場合でも、録画予約実行中以外は視聴中の番組の音声を出力します。

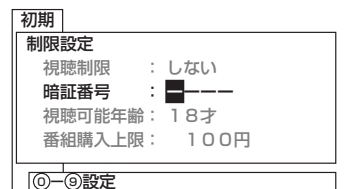
視聴制限の設定

視聴制限を設定する

視聴制限（視聴可能年齢・番組購入上限）をご使用になるには、暗証番号の登録が必要です。
視聴制限を「する」に設定すると、視聴制限の対象になる番組は暗証番号を入力しないと視聴したり、購入したりできません。
お買い上げ時は、視聴制限は「しない」に設定されています。

6 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「初期」画面の２ページ目を表示させる

2 で「制限設定」を選び、または決定ボタンを押す

制限設定画面が表示されます。

3 で「暗証番号」を選び、または決定ボタンを押す

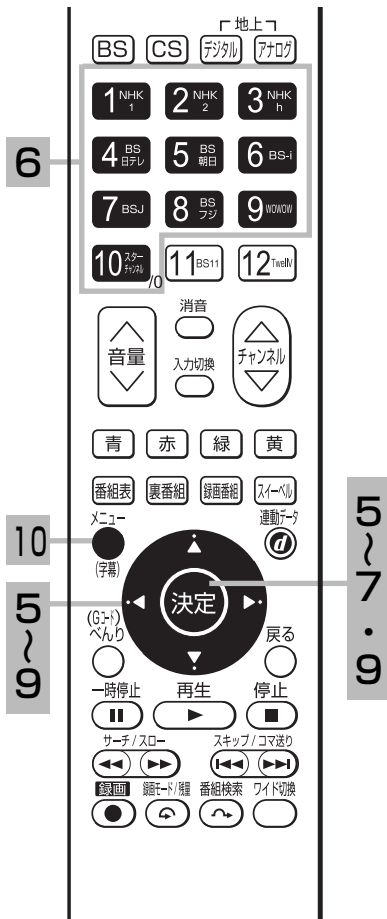
4 数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

●暗証番号を確認する画面が表示されます。もう一度、暗証番号を入力してください。
●暗証番号が登録されると、「視聴制限」は「する」に設定されます。

（次ページにつづく）

お知らせ

登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。
万一忘れてしまった場合は、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合せください。

視聴制限の設定

視聴制限を設定する（つづき）

5 ◯で「視聴可能年齢」を選び、◯または決定ボタンを押す

初期
制限設定
視聴制限　する
暗証番号　＊＊＊＊
視聴可能年齢　18才
番組購入上限　100円
選択　決定　戻る

6 数字ボタンで年齢を設定し、決定ボタンを押す

初期
制限設定
視聴制限　：する
暗証番号　：＊＊＊＊
視聴可能年齢：－才
番組購入上限：　100円
⓪－⑨設定　決定 設定終了

7 ◯で「番組購入上限」を選び、◯または決定ボタンを押す

8 ◯で金額を設定する

9 設定が終了したら◯または決定ボタンを押す

10 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

視聴可能年齢について

- 視聴可能年齢は4～20まで1才単位に設定できます。（4～9才は、はじめに0を押してください。）
- 「20」に設定すると番組の対象年齢に関係なく、そのまま視聴できます。
- お買い上げ時は「20」に設定されています。
- 番号を入力している途中で修正するときは、◯ボタンを押して、修正したいところまで戻して行ってください。

番組購入上限について

- 番組購入上限は、有料番組などを購入するとき、暗証番号による確認なしに購入できる上限金額を設定するものです。
- 番組購入上限を「なし」に設定すると番組の料金に関係なく、そのまま購入できます。
- お買い上げ時は「なし」に設定されています。

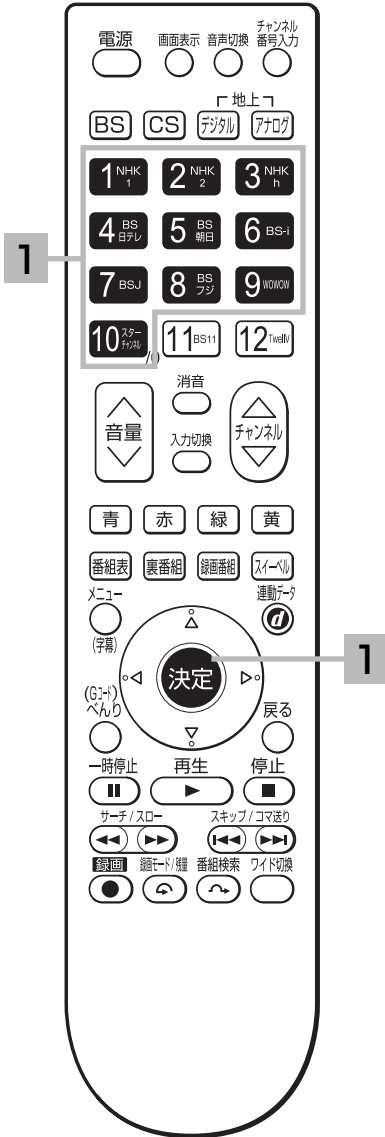
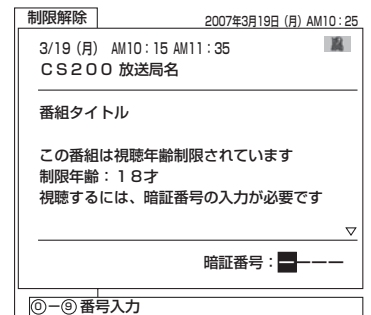
視聴制限を一時的に解除する

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

視聴制限の対象になる番組を選んだ場合、制限解除画面が表示されます。
暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除する必要があります。

1 数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

視聴制限は一時解除されますが、チャンネルを切り換えると制限状態に戻ります。

調節・設定・確認

文字スーパー、放送時間変更対応、メール表示などの設定

●文字スーパーのある番組での表示設定ができます。
●予約した番組が実際に放送されるとき、登録した時間と異なる場合、放送に合わせて予約実行するかを設定できます。
●デジタル放送局からメール 153 が着信すると画面下に「✉メールがあります」と表示されます。また、未読メールがあるときは、チャンネル表示やビデオ表示とともに画面右下に✉マークが表示されます。35 これらを表示させないようにすることができます。
●番組表の表示方法を変更することができます。

お知らせ

文字スーパーについて
●設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。
●お買上げ時は、「文字スーパー表示」は「する」に設定されています。
●文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

放送時間変更対応について
● 3 時間を越える開始時刻延長には対応しません。
●マニュアル予約は放送時間変更に対応しません。
●放送時間変更対応を「する」に設定した場合、録画実行中に放送時間が変更になり、他の予約が重なると重なった予約はキャンセルされます。(予約は実行されません。)
●放送時間の変更に追従できない場合があります。大切な番組を録画する際は、マニュアル予約にて時間に余裕を持たせて録画予約することをお勧めします。

メール表示について
●メールをご覧になるときは 153 を参照してください。
●既に未読メールがあるときに新たにメールが着信しても「✉メールがあります」は表示されません。
●お買い上げ時は、「メール表示」は「する」に設定されています。

番組表マルチ表示について
●お買上げ時は、「番組表マルチ表示」は「しない」に設定されています。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ▲▼で設定する項目を選び、▶または決定ボタンを押し、▲▼で設定する

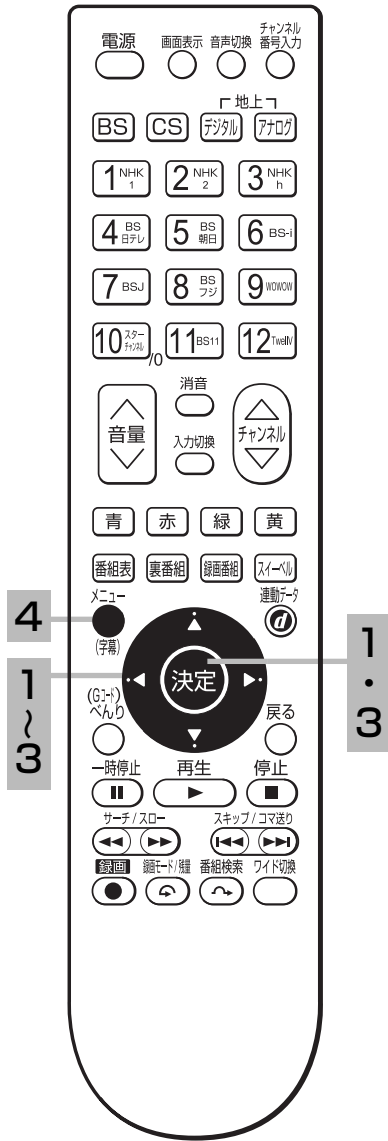
「LED リモコン反応」を設定するときは▲▼で 2 ページ目を表示します。

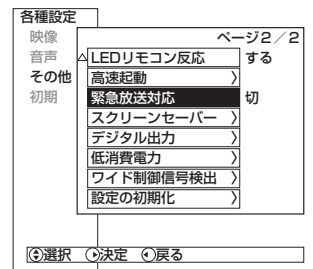
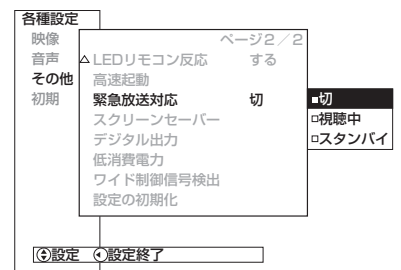
▲▼ 設定項目	▶ ➡ ▲▼	設定のポイント
文字スーパー表示	する / しない	「する」: 文字スーパーを表示します。ただし、表示地域が指定されたときは、CH 合せ（地域名）に設定された地域に従い表示します。 「しない」: 文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示するよう指定されたときは、この設定は無効になります。
放送時間変更対応	する / しない	「する」: 実際に放送される時間に合わせて予約を実行します。視聴状況によっては、追従できない場合があります。 「しない」: 予約登録された時間のまま予約を実行します。
メール表示	する / しない	「する」: 状況に応じて✉マークや「✉メールがあります」を表示します。 「しない」: メールの未読表示をしたくないときは「しない」に設定します。
番組表マルチ表示	する / しない	「する」: 1 つのチャンネルに複数のサービスがある場合、3 チャンネル分の表示欄を表示します。 「しない」: 1 つのチャンネルに複数のサービスがある場合、任意の 1 チャンネル分を表示します。表示されないチャンネルは縦の水色の帯で表示されます。
LED リモコン反応	する / しない	「する」: リモコンを操作すると、受像ランプが点滅します。正しくリモコン信号を受信できているか確認できます。 「しない」: 点滅しないようにするときは、「しない」に設定します。

2 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

緊急警報放送を受信できるようにする

警戒宣言や津波警報が発令されたときなどに、災害警報を放送しているチャンネルに切り換えることができます。

6 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、で「緊急放送対応」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「視聴中」または「スタンバイ」を選ぶ

切	緊急警報放送を受信しないときは、「切」に設定します。
視聴中	警報宣言や津波警報が発令されたときなどに、緊急警報放送が行われていることを案内します。 その CH を選局するときは、「はい」を選択して決定ボタンを押します。 お買い上げ時は、「視聴中」に設定されています。
スタンバイ	電源がスタンバイ状態のときにも自動的に緊急警報放送を受信することができます。リモコンや本体操作のない状態が約 2 時間以上続くと、自動的に電源を「切」にします。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- 予約録画中、ダウンロード (①準備編 105 111) 実行中は本機能を設定していても、緊急警報放送は受信できません。
- 緊急放送対応「スタンバイ」の場合
  - ・電源スタンバイ（オフ時）の消費電力は、約 50W になります。
  - ・主電源スイッチが「切」になっているときは動作しません。

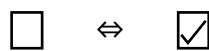
すぐに操作できるようにする（高速起動）

本機では電源が切れている状態から操作がすぐにできるように設定することができます。
ご使用の時間帯に合わせて設定することにより、あまりご使用にならない時間帯では消費電力を低減することができます。

66の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 （上下）で2ページ目を表示し、（上下）で「高速起動」を選び、（右）または決定ボタンを押す

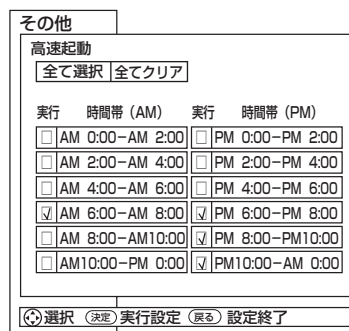
2 （上下左右）で時間帯を選択し、決定ボタンを押す

チェックマーク「✓」が設定されます。
解除する場合は、再度時間帯を選択して決定ボタンを押します。

実行しない　　実行する

- すべてを選択するときは、「全て選択」を選んで決定ボタンを押します。
- すべてを非選択にするときは「全てクリア」を選んで決定ボタンを押します。

その他
高速起動
全て選択　全てクリア

実行	時間帯（AM）	実行	時間帯（PM）
□	AM 0:00−AM 2:00	□	PM 0:00−PM 2:00
□	AM 2:00−AM 4:00	□	PM 2:00−PM 4:00
□	AM 4:00−AM 6:00	□	PM 4:00−PM 6:00
☑	AM 6:00−AM 8:00	☑	PM 6:00−PM 8:00
□	AM 8:00−AM10:00	☑	PM 8:00−PM10:00
□	AM10:00−PM 0:00	☑	PM10:00−AM 0:00

選択　決定 実行設定　戻る 設定終了

実行する	リモコンで電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止しますが、電源が切れている状態からすばやく起動できるようになります。ただし、電源オフ時の消費電力は約 50W となります。
実行しない	電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止し、待機消費電力を少なく（待機時 0.5W）します。

お買い上げ時はすべて「実行しない」に設定されています。

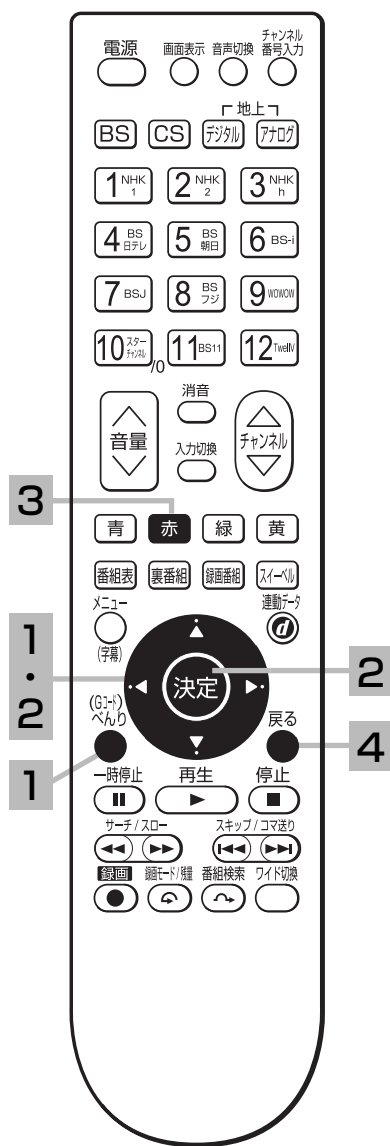
3 設定が終了したら戻るボタンを押す

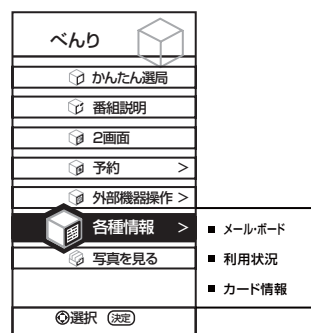
4 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

BS・CS デジタル放送または、地上デジタル放送を受信しない場合は、時刻設定を行ってください。（①準備編 112）
時刻設定が未設定になっている場合は、時間帯の設定は無効になります。「全て選択」で全時間帯を設定した場合は、常に高速起動が有効になります。

有料番組（ペイ・パー・ビュー）の利用状況確認

購入したペイパービューの記録を 10 番組まで確認することができます。不要になった記録を削除することもできます。

1 べんりボタンを押し、▲▼で「各種情報」を選び、▶を押す

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

2 ▲▼で「利用状況」を選び、決定ボタンを押す

利用状況画面が表示されます。

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

3 内容を確認する

表示されている内容を削除したい場合、赤ボタンを押し、削除確認で「はい」を選択して、決定ボタンを押します。

4 戻るボタンを押す

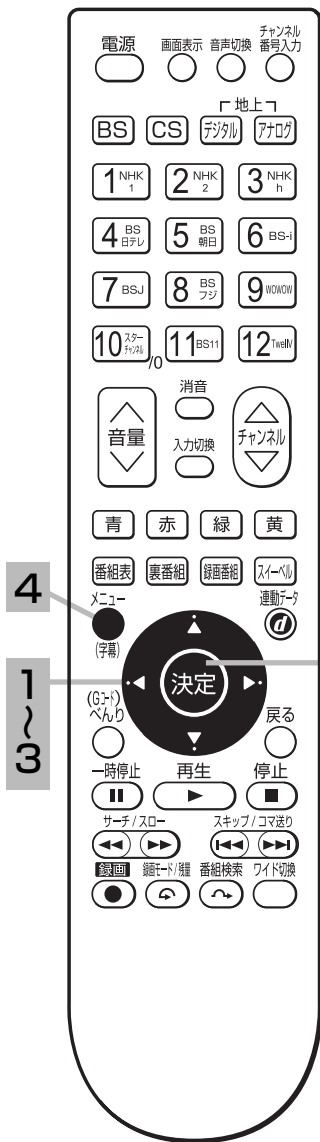
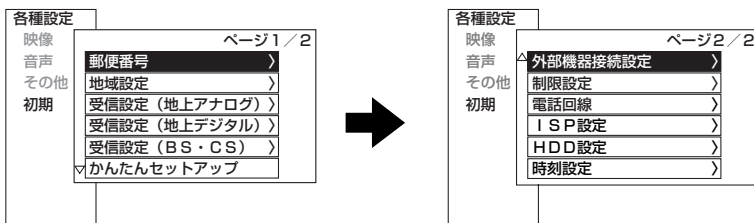
終了します。

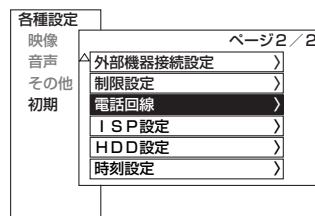
お知らせ

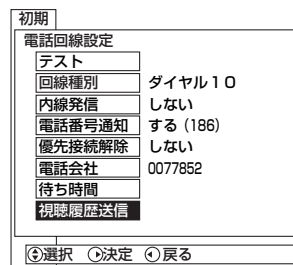
- 個別に選択して記録を削除することはできません。
- 削除した記録は戻すことができません。
- 表示される金額は、実際に請求される金額と異なることがあります。

視聴履歴を送信する

通常、購入情報は電話回線を通じて自動的にご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ送信されます。何らかの理由で自動送信できなかった場合、お客様の操作により購入情報を送信することができます。

6 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「初期」画面の２ページ目を表示させる

2 で「電話回線」を選び、 または決定ボタンを押す

電話回線画面が表示されます。

3 で「視聴履歴送信」を選び、決定ボタンを押す

購入情報が送信されます。送信が終了するまで約１分かかります。
送信を開始すると、手順 2 の画面に自動的に戻ります。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

終了します。

お守りください

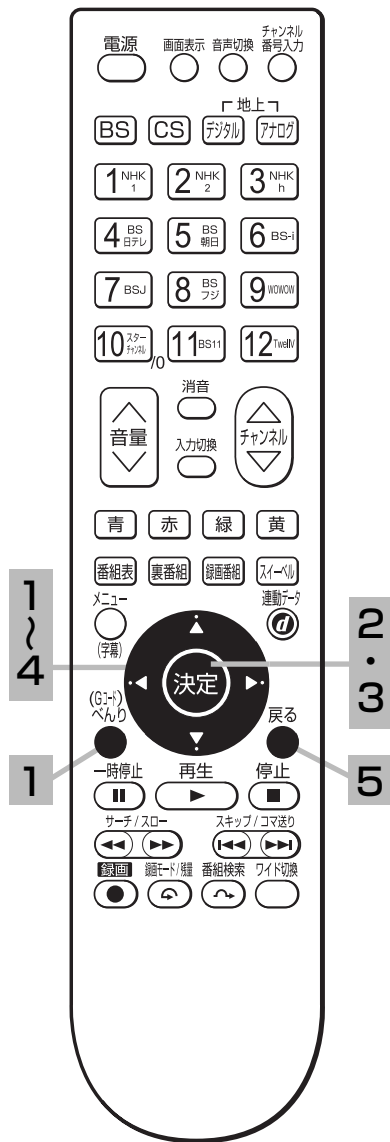
B-CAS カードが挿入されていないと履歴送信はできません。

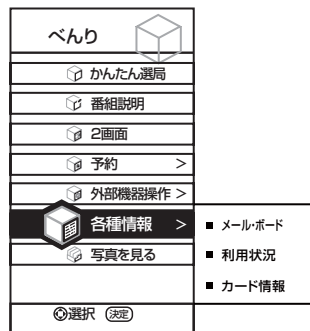
お知らせ

購入情報の送信が終わると、メールが発行されますので内容をご確認ください。

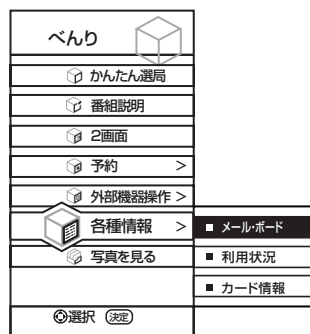
インフォメーションの確認

メール・ボードを見る

メールは、デジタル放送している局からお客さまへ送られるメッセージです。内容を必ず確認してください。
ボードは、CS 放送での「放送局からのお知らせ」です。
ご連絡には、電話回線の接続異常やソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報などがあります。

1 べんりボタンを押し、◯で「各種情報」を選び、◯を押す

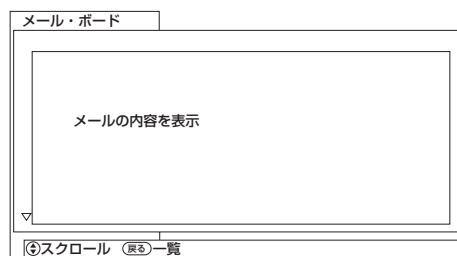
P42-HV01 の と き は、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

2 ◯で「メール・ボード」を選び、決定ボタンを押す

メール・ボード画面が表示されます。

P42-HV01 の と き は、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

3 ◯で見たいメールを選び、決定ボタンを押す

内容を確認していないメールの場合、メール (未読) と表示されます。

4 内容を確認する

続きの内容を見るときは、
◯ボタンを押します。

5 戻るボタンを 2 回押す

終了します。

お守りください

B-CAS カードが挿入されていないとメールは受信できません。

お知らせ

放送局から送られてくるメールは 31 通まで記録されます。31 通を超えた場合、古いメールから自動的に削除されます。

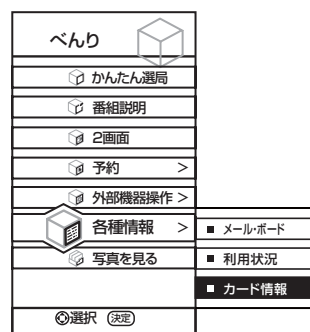
インフォメーションの確認

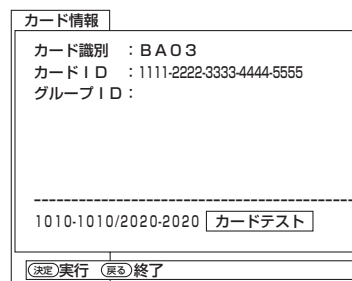
カード情報を見る

1 べんりボタンを押し、（▲▼）で「各種情報」を選び、（▶）を押す

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

2 （▲▼）で「カード情報」を選び、決定ボタンを押す

カード情報が表示されます。

P42-HV01 のときは、「外部機器操作」の項目が「かんたん操作」となっています。

3 カードテストを行う場合は、決定ボタンを押す

● B-CAS カードが正常な場合は、「正常に動作しています」と表示されます。
●正常に動作していない場合は、「B-CAS カードの挿入」をご覧になり、カードが正しく挿入されているかなどをご確認ください。(①準備編 34)

4 戻るボタンを押す

終了します。

お知らせ

グループ ID は表示されないことがあります。

困ったときは

故障かな？と思ったら

電源プラグやアンテナ線がはずれているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

> ⚠ **警告**
> お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

> ⚠ **注意**
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

全般

このようなときは…		よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ない音も出ない	スタンバイランプが消えている場合	①電源コードが抜けている。 ②電源ブレーカーが落ちている。 ③主電源が切になっている。	①電源コードの挿入を確認してください。 ②電源ブレーカーを確認してください。 ③主電源を入にしてください。	54 14
	受像ランプが青色点滅の場合	ビデオ入力のパワーセーブ状態です。	①選択した入力端子に接続してある機器の電源が入っているか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	127
	受像ランプが青色の場合	選択した入力端子に何も接続されていない。	入力切換ボタンで、機器が接続されている入力端子を選択してください。	104
映像が出ない（音は出る）		①テレビ内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。 ②選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①テレビの主電源を切って、十分に冷やしてから（10分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※テレビ背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	—
音が出ない（映像は出る）		①音量調節が0になっている。 ②消音ボタンを押している。 ③無信号チャンネル、弱電界チャンネルまたはゴースト妨害が大きいチャンネルを受信したときのみ音が出ない場合は、無信号音声ミュートが「入」になっている。 ④ヘッドホンプラグが差し込まれている。（ヘッドホンモード「1」のとき） ⑤選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①音量ボタン（∧）を押してみてください。 ②もう一度消音ボタンを押してみてください。 ③無信号音声ミュートを「切」にする。 ④ヘッドホンプラグを抜く、またはヘッドホンモード「2」で使用する。 ⑤選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	14 34 126 126
外部機器の映像が乱れる		外部機器との接続時、D端子ピンケーブルを使用している。	メニューの「その他」「ワイド制御信号検出」の「D4端子検出」を「しない」に設定してください。	41 130
リモコンでテレビが操作できない		①リモコン送信機の乾電池が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。 ③リモコンスルー機能により、リモコン送信機の信号とIRコントローラーの信号が干渉している。 ※リモコンが正常に受信できているときは、受像ランプが点滅します。148	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。 ③「かんたん操作」を「1」に設定するか、IRコントローラーからの信号が本体のリモコン受信窓に飛び込まない位置に設置してください。	29 133
テレビの電源を入れると、他の機器のリモコン操作ができない		リモコンスルー機能により、リモコン送信機の信号とIRコントローラーの信号が干渉している。	「かんたん操作」を「1」に設定するか、IRコントローラーからの信号が本体のリモコン受信窓に飛び込まない位置に設置してください。	133
勝手に電源が切れる		①パワーセーブ、無信号電源オフ、無操作電源オフなどの低消費電力機能が設定されている。 ②テレビ内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。	①低消費電力機能の設定を確認してください。 ②テレビの主電源を切って、十分に冷やしてから（10分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※テレビ背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。	131

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドフォンにノイズが入ったり、音が聞こえない。	赤外線通信機器は通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありません。		―
ラジオに雑音がはいる	近くでラジオを使用しますと、雑音がはいる場合があります。テレビより十分に離してご使用ください。		―
電源を切ってある(スタンバイランプが赤色で点灯している)のに、突然「カチッ」「ヒューン」と音がする。	本機では、リモコンで電源を「切」にしていても下記の場合に、本体内部のスイッチを自動で入れたり切ったりします。このとき、「カチッ」というスイッチ音がしたり、「ヒューン」という iVDR が起動する音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。 ●高速起動を設定しているとき 150　●ダウンロードしているとき 105 111 ●有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するとき ●番組情報を取得するとき　●予約録画の開始時刻が 6 分以内にあるとき ●時刻を自動的に修正するとき		―
テレビから「ジー」と音がする	ご使用中に、プラズマパネルや液晶パネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。 テレビと背面の壁が近いと、「ジー」音が壁に反射して大きく聞こえる場合があります。このような場合は、テレビを背面の壁と十分に離して設置してください。		―
テレビの後面から「ブーン」や「カリカリ」と音がする	本体内部の iVDR が動作する音で、故障ではありません。		―
テレビの上部が熱い	テレビは、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります（50 ～ 60℃くらい；室温 25℃にて）が、故障ではありません。		―
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	モジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	―
テレビの表面温度が高い	プラズマパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。また、液晶テレビは液晶パネルに内蔵された蛍光灯を点灯しています。そのため、パネル表面温度が高くなる場合があります（50 ～ 60℃くらい；室温 25℃にて）が、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		―
画面上に周囲と異なる点（※）がある ※光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など	プラズマテレビや液晶テレビは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		―
映像の内容により、縦状のノイズが出る（プラズマテレビ）	プラズマパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		―
映像の内容によって画面が明るくなったり暗くなったりする	テレビの省電力機能により明るさを自動調節しています。この機能により、明るい部分（白）が多い映像の時は、画面が暗くなります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		―
斜めから字幕などを見ると２重に見える	プラズマテレビは、発光部であるプラズマパネルの前側に、前面フィルターと称するガラスが隙間を設け装着されております。本構造により、パネルで発光した字幕文字などの高輝度映像が前面フィルター内側で反射し、それがパネル表面に薄く映りこんで 2 重に見えたものです。部品不具合や故障によるものではありません。		―
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		―
モニタを軽くゆするとスタンドから「カチカチ」と音がする	スタンド内部の回転機構には、動作を円滑にするためのすき間が設けてあります。そのため、軽くゆすると音がしますが故障ではありません。		―

メ　モ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

故障かな？と思ったら（つづき）

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像内容が変わったときに、前の映像が残って見える	静止画（画面表示、放送局側から送られてくる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。		―
テレビの電源を入れたあと、約1分間くらいリモコン操作を受け付けにくい	iVDRの準備中のために、メニュー表示などのリモコン操作が受け付けにくい場合がありますが、故障ではありません。		―
テレビの電源を入れたあと、約1分くらいの間に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出る	iVDRの準備中のために、画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）がまれに出る場合がありますが、故障ではありません。		―
スイーベル操作ができない	①専用スタンド接続ケーブルが外れている。 ②「スイーベル操作」が「しない」に設定されている。	①専用スタンド接続ケーブルを正しく接続してください。 ②「スイーベル操作」を「する」に設定する。	38 134
●映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。 ●CMやアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。 ●テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。	これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、映像クリエーションまたはフィルムシアターを「切」でご覧ください。		120
電源を入れてから、映像・音声が出るまで時間がかかる	電源を入れてから、映像･音声が出るまでに15秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。 本機には高精度のデジタル信号処理回路が搭載されており、この回路の動作安定処理に要する時間です。		―
映像設定の操作ができない	メニューの「映像特殊設定」を「しない」に設定してください。		122
すべての操作ボタンを受け付けない	本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ/受像ランプが消灯してから再度主電源を入れてください。		21
●画面の四すみが暗い。 ●画面全体に菱形の模様が薄く見える。 （P42-HV01）	この現象は、シェーディング機能によるもので、故障ではありません。シェーディング機能は、放送局のロゴ表示などによる焼付き現象を生じにくくする為の機能です。 この現象が気になる場合は、「シェーディング」を「切」に設定してください。		135
画面に映像がわずかに残って見える（L37-X01）	地上アナログ放送の受信で受信状態が悪い場合、静止画の映像がわずかに残って見える場合があります。	この現象は液晶パネル特性によるものであり、故障ではありません。 ①通常の動画を表示するか、または電源を「切」にしていれば除々に解消されます。 ②地上アナログ放送のアンテナ設置状態や接続の見直しをしてください。 ③メニューの「動画モード」が「入」の場合は、「切」にしてください。	120

メ　モ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

地上アナログ放送のとき（VHF・UHF）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
カラー番組のときに色が出ない	色の濃さの設定が－(淡)側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、＋にしてみてください。	117
画像が２重３重に映る(ゴースト)	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きがずれていないかお調べください。	—
●雪が降っているような画面になりハッキリしない(スノーノイズ) ●「アンテナ・受信設定を確認して下さい」と表示がでる	アンテナの向きが正しくない。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。	30
	アンテナ線がはずれている。	セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	
	受信設定が合っていない。	①お住まいの都市の地域番号で放送局を設定してください。 ②お好みに合わせてマニュアルによるチャンネル合わせをしてください。	81 90
	チャンネルの微調が合っていない。	電波状態によって同調を少しずらした方が見やすくなるときに調節してください。	91
	放送局から放送されていない。	放送されていないCHや深夜の放送されていない時間帯では、しばらく放置すると「アンテナ・受信設定を確認して下さい」の表示がでることがあります。	—

デジタル放送のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
(BS､110度CSデジタル放送のとき) ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、途切れたりする	①BS/CSアンテナの向きがずれている。 ②雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	①「CH合せ(BS)」または「CH合せ(CS)」でアンテナ入力レベルが最大になる角度にBS/CSアンテナを調節してください。 ②天候が回復すると元に戻ります。	107
(BS､110度CSデジタル放送のとき) 110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナが110度CSデジタル放送に対応していない。 ●アンテナ線やブースター、分配器が110度CSデジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110度CSデジタル放送に対応したものを使用してください。	32 33
(BS､110度CSデジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々でなくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用すると、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良いBS・CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	32 33
(BS､110度CSデジタル放送のとき) ペイ・パー・ビュー番組が購入できない	①電話回線が正しく接続されていない。 ②「電話設定」が間違っている。 ③B-CASカードが正しく挿入されていない。 ④視聴履歴が自動送信できない。	①電話回線を正しく接続してください。 ②「電話設定」を正しく設定してください。 ③B-CASカードを正しく挿入してください。 ④「視聴履歴を送信する」で送信を行った後、もう一度購入操作を行なってください。	35 66 34 152
(BS､110度CSデジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。	—
(BS､110度CSデジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	①B-CASカードが正しく挿入されていない。 ②有料放送を視聴するための手続きがされていない。 ③電話回線の接続や設定が不完全。	①B-CASカードを正しく挿入してください。 ②視聴手続きを行なってください。 ③電話回線の接続と「電話設定」を確認してください。	34 68 26 35 68

故障かな？と思ったら（つづき）

デジタル放送のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
（地上デジタル放送のとき） ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり、音声が途切れたりする	① UHF アンテナの向きがずれている。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない。（特定チャンネル対応の場合など） ③●ブースターの調整やアッテネーターの設定が適切になっていない。 ●放送局の送出出力が変化した。	①「チャンネルの合わせかた（地域名）」のメニューで、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。 ②地上デジタル放送に対応していない場合は、対応する UHF アンテナを使用してください。 ③ブースターの調整を見直したり、アッテネーターの入、切により、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。	99 30 18 96
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		99
（地上デジタル放送のとき） 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様の居住されている地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。	18
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		99
（地上デジタル放送のとき） 視聴中の放送の番組表しか情報が表示されない	①設置後、選局した放送以外の電子番組表が表示されない。 ②深夜に予約録画を実行している、または深夜に主電源を切っている。	①地上デジタル放送では、電子番組表情報はそれぞれの放送ごとに送られています。表示されない放送をチャンネルボタンで選局後、しばらく視聴してから表示してください。 ②地上デジタル放送の電子番組情報を深夜 1：30 に自動的に取得します。この時間に予約録画を実行したり主電源を切っていると情報を取得できません。	23
予約が実行されない	①録画開始時刻に主電源が「切」または停電等で AC 電源が切になった。 ②予約録画実行時に iVDR の残量がなかった。 ③「視聴予約」で予約して、電源がオフになっている。	①録画予約した後に電源を切る場合は、リモコンで電源を切ってください。 ②録画予約を行う場合は、事前に残量を確認してください。 ③「視聴予約」で予約した場合は、電源オフにしていると予約が実行されません。	55
字幕や文字スーパーが出ない	①メニュー画面などが表示されている。 ②メニューの「文字スーパー表示」が「しない」に設定されている。 ③字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	①メニューや操作画面を消してください。 ②メニューの「文字スーパー表示」を「する」に設定してください。 ③番組説明に「字幕あり」と表示されている番組を視聴してください。	148 24 40
本機から通信を行なうと電話器やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	モジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器（パソコン対応）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
電話器にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。		—

デジタル放送のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
IR コントローラーで録画機器の録画予約ができない	① IR コントローラーが正しく設置できていない。 ②「IR コントローラーの設定」が正しくない。 ③録画機器の準備が正しくできていない。	① IR コントローラーを正しく接続、設置してください。 ②「IR コントローラーの設定」を正しく行なってください。 ③録画機器の電源や入力切り換え、ビデオカセットなどを確認してください。	51 122
i.LINK 対応機器が操作できない（L37-X01）	①本機に対応していない i.LINK 対応機器を接続している。 ② i.LINK 対応機器と本機がリンクされていない。 ③ i.LINK 対応機器が本機の操作パネルに登録されていない。	①本機で制御できる i.LINK 対応機器をご使用ください。 ②操作パネル画面で操作する i.LINK 機器を選んでください。 ③機器設定画面で操作する i.LINK 機器を操作パネルに登録してください。	111 112 126
●デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない ●デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない	本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから主電源を入れてください。		21

HDMI 対応機器を接続のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ない、乱れる	① HDMI ケーブルの接続を確認してください。 ②一部の機器では、正常に動作しないことがあります。 ③本体および接続機器の電源を「切」→「入」にしてください。 ④接続機器の設定を対応信号にしてください。		43

iVDR 操作のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
録画ができない	① iVDR の空き容量が足りない。 ②他の番組を録画中である。 ③録画済みタイトル数が 999（上限）になっている。 ④録画が禁止された番組を録画しようとした。 ⑤ラジオ放送またはデータ放送の番組を録画しようとした。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②他の番組の録画が終了もしくは中止してから録画してください。 ③不要な録画済み番組を消去してください。 ④録画が禁止されている番組は録画できません。 ⑤ラジオ放送およびデータ放送は、録画することができません。 ⑥録画済の番組は全て消去されますが、「iVDR 初期化」を行なってから動作を確認してください。	78 44 45 78 46 45 114
録画が途中で止まる	① iVDR の空き容量が足りない。 ②録画済みタイトル数が 999（上限）になっている。 ③途中から、録画が禁止された番組に切り替わった。 ④録画中に電源プラグ抜けや停電があった。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②不要な録画済み番組を消去してください。 ③録画が禁止されている番組は録画できません。	78 78 46
録画予約登録ができない	① iVDR の空き容量が足りない。 ②未契約の番組や、録画が禁止された番組を録画しようとした。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②未契約の番組や録画が禁止されている番組は録画できません。	78 46

故障かな？と思ったら（つづき）

iVDR 操作のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
G コード予約ができない（L37-X01）	①地域番号またはガイド CH が正しく設定されていない。 ②時刻設定をしていない。（デジタル放送を受信しない場合）	①地域番号またはガイド CH を正しく設定してください。 ②デジタル放送（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタルの一つ以上）を受信してください。デジタル放送を受信すると時刻情報は自動的に設定されます。デジタル放送を受信しないで使用される場合は、時刻設定をしてください。	84 112
外部入力録画ができない	①録画制限された番組を録画しようとした。 ②ビデオ 2、3 のコンポーネント入力信号を録画しようとした。	①録画制限された番組は記録できません。 ②コンポーネント入力信号は録画できません。ビデオ信号（コンポジット信号、S 映像信号）を録画してください。	46 45
録画停止ができない	予約録画中に「停止」ボタンによる録画停止をしようとした。	べんり機能の「予約録画停止」を選択、決定してください。	9　63
再生できない	録画時の異常などにより、正常録画されてなかった番組を再生しようとした。	正常に録画できなかった番組は再生できません。	47
再生画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出るときがある	以下の場合に発生する場合がありますが、故障ではありません。 ●元の映像にブロックノイズがある場合 ●天候などにより、受信環境が悪化した場合 ●録画モードが長時間モードになっている場合 ●画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ● iVDR の物理エラーによる場合 (録画モードや録画内容によらず、大量にブロックノイズが発生する場合は、iVDR の故障の場合があります。そのような場合は、当社お客様相談窓口までご相談ください）		—
「TS」以外のモード (TSE、XP、SP、LP、EP) で録画した番組を再生したときに､四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり画面が静止したりすることがある	「TS」以外の録画モードでは長時間録画のための処理を行なうため、以下の場合に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり画面が静止したりすることがありますが故障ではありません。 デジタル放送の受信で、 ●受信状態が悪い場合 ●天候などにより受信環境が悪化した場合 ●外来ノイズを受けた場合 などに録画、再生した場合。	「TS」以外の録画モードでは、受信状態の影響を受けやすくなります。 デジタル放送のアンテナ設置状態や接続を見直して、十分な受信レベルを確保してください。 詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。 ノイズが気になる場合は、「TS」モードでの録画をおすすめします。	159 30～33 99 107 47
「TS」以外のモード (TSE、XP、SP、LP、EP) で録画した番組を再生したときに、放送受信時よりも四角のノイズ（ブロックノイズ）が多く発生することがある	「TS」以外の録画モードでは長時間録画のための処理を行なうため、シーンの切り換わりの場面や動きの激しいシーンのある場面を録画、再生した場合に、放送受信時よりも四角のノイズ（ブロックノイズ）が多く発生することがありますが故障ではありません。 ノイズが気になる場合は「TS」モードでの録画をおすすめします。		47
「ダビング」ができない（L37-X01）	①「ダビング」の対応機種ではない D-VHS に移動しようとした。 ②「ダビング」の対象 D-VHS 以外の機器が接続されている 。 ③「ダビング」の対象 D-VHS の準備ができていない。 ④録画制限された番組をダビングしようとした。	①ダビングする D-VHS は、対応機種を接続してください。 ②ダビングする場合、i.LINK に接続する機器はダビングする D-VHS のみとしてください。 ③ダビングする場合は、ダビングする D-VHS の電源をオンにし、録画するテープを挿入し、停止状態としてください。 ④録画制限された録画番組はダビングできません。iVDR 内の録画番組が消去されても良い場合は、「移動」をおこなってください。	91

iVDR 操作のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
再生時、音が出ない	外部入力録画で、音声信号が入力されていなかった。	外部入力の音声入力がきちんと接続されているか確認してください。	40
「移動」ができない（L37-X01）	①「移動」の対応機種ではないD-VHSに移動しようとした。 ②「移動」の対象D-VHS以外の機器が接続されている。 ③「移動」の対象D-VHSの準備ができていない。	①「移動」するD-VHSは、対応機種を接続してください。 ②「移動」する場合、i.LINKに接続する機器はダビングするD-VHSのみとしてください。 ③「移動」する場合は、ダビングするD-VHSの電源をオンにし、録画するテープを挿入し、停止状態としてください。	91
録画済みの番組を消去できない	削除ロックされている録画済み番組を消去しようとした。	削除ロックされている録画済み番組を消去する場合は、削除ロックを解除してから消去してください。	77
全番組削除ができない	①全番組削除操作をしたが、削除ロックされている録画済み番組が残っている。 ②全番組削除の項目がグレー文字になっていて操作できない。	①録画番組一覧表示などで確認し、削除ロックされている録画済み番組がある場合は、削除ロックを解除してから全番組削除を実行してください。 ② 15分以内に始まる予約録画の登録がある場合は、全番組削除はできません。予約が終了してから削除してください。または、番組単位で削除してください。	77 79
録画した番組が消えた、または何も録画されていない	①予約登録が更新録画となっていた。 ②予約録画実行時、受信障害や放送休止（放送録画の場合）になっていた。または、信号が入力されていなかった（外部入力録画の場合）。 ③録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	①消去したくない番組は、削除ロックしてください。 ②正常に受信できない場合や休止中で放送されていない場合は録画できません。外部入力録画で外部入力信号が入力されていない場合も録画できません。放送状況、外部入力状況を確認してみてください。 ③録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、録画番組が消えたりすることがあります。 **消えた番組は補償されません。**	77 47 45 14
録画した番組が全て消えた	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、録画番組が消えたり、録画や再生ができなくなることがあります。 **消えた番組は補償されません。**	14
メニュー、番組表、録画番組などの画面表示動作が遅いときがある	録画中などでテレビの内部処理が一時的に重くなっている場合に、画面表示の動作が遅くなることがありますが、故障ではありません。		45

メ　モ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

メッセージ表示一覧

本機ではデジタル放送のとき、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容または対処のしかた
IC カードを正しく挿入してください	B-CAS カードが本体に正しく挿入されているか、「B-CAS カードの挿入」34 をご覧になり確認してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません コード：E200	このチャンネル（番組）は、本機では視聴することができません。
降雨対応放送を受信中 コード：E201	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなり、降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
受信レベルが低下しています コード：E201	・一時的に電波が弱くなっている。 ・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナの接続」32 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」106 をご覧になり確認してください。
アンテナ接続か放送電波に不具合があるため 現在、ご覧になれません コード：E202	・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナの接続」32 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」106 をご覧になり確認してください。 ・放送局の整備などで電波が停止していることもあります。 ・雷雨や豪雨のような気象条件により、受信できなくなることがあります。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
現在、この放送は休止しています コード：E203	選局したチャンネルでは、現在、番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
このチャンネルはありません コード：E204	選局したチャンネルでは、放送が行われていません。 （BS 放送の「211ch BS11（日本 BS 放送）」ボタン⑪、「222ch TwellV（ワールドハイビジョンチャンネル）」ボタン⑫は 2007 年 12 月にサービス開始予定です。）
チャンネル登録されていません	
コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください コード：E209	アンテナのコンバーター電源がショートしています。「BS/CS アンテナの接続」32 をご覧になり、アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
このチャンネルはご覧になれません コード：E210	本機の対応していないサービスを選局しました。他のチャンネルを選局してください。
この IC カードは使用できません 正しい IC カードを挿入してください コード：EC01	B-CAS カード以外の IC カードが挿入されているか、カードの表裏が逆に挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。
ご購入できる時間は終了しています コード：8108	番組によっては、購入できる時間が限られていることがあります。他の時間帯で放送される番組をお選びください。
電話回線の接続をご確認のうえ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：8109	視聴履歴が正しく送信されていません。電話回線の接続と設定をご確認のうえ、「視聴履歴を送信する」152 をご覧になり、履歴送信を行ってください。
このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご覧のチャンネルの契約内容をお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このチャンネルはご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
IC カードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
この IC カードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。

＊＊＊＊には英数字が表示されます。

iVDR 操作のとき

メッセージ	内容または対処のしかた
iVDR 容量がいっぱいです	iVDR の空き容量がなくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
iVDR 容量がいっぱいです 録画を停止しました	録画中に iVDR の空き容量がなくなりました。不要な録画済み番組を消去してください。
iVDR 容量が少なくなっています	iVDR の空き容量が残り少なくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
録画時間が 10 時間をこえましたので 録画を停止しました	連続 10 時間以上録画をしようとした。1 回の録画時間は 10 時間までにしてください。45
iVDR 容量が足りません	不要な録画済み番組を消去して、iVDR 容量を確保してください。
録画中は操作できません	デジタル放送（BS デジタル、110 度 CS デジタル、地上デジタル放送）を録画中に、2 画面の録画側を他のデジタル放送チャンネルを選局操作などをした。デジタル放送を録画中は、他のデジタル放送チャンネルを選局できません。
再生中は操作できません	再生中に選局操作などをした。再生中は選局操作はできません。
ダビング中です	ダビング処理中はその操作はできません。
移動中です 中止はできません	移動処理中はその操作はできません。
ダビングを中止しました	ダビング処理中止の操作や i.LINK 接続機器や i.LINK 接続状況などの変化などにより、ダビング処理を中止した。ダビング処理を再開するときは、ダビングの手順 88 にもとづいて、再度、ダビング操作をおこなってください。
移動を中止しました	移動処理中止の操作や i.LINK 接続機器や i.LINK 接続状況などの変化などにより、移動処理を中止した。
番組数が最大になりました 番組を削除してください	録画済み番組数が上限（999）になりました。不要な録画済み番組を消去してください。 45、78
番組がコピーガードされています 録画できません	コピーガードがかかっている番組を録画しようとした 。コピーガードのかかっている番組 (外部入力含む) は録画できません。
iVDR の準備中です しばらくお待ちください	iVDR の立ち上げ中、または iVDR が省電力モードに入っているときに iVDR をアクセスする操作をした。 しばらく待ってから操作を行ってください。
iVDR の初期化中です しばらくお待ちください	iVDR の初期化を行なった。 メッセージが消えてから操作してください。
iVDR にアクセスできません（1）/（2）	録画・再生または録画番組操作時などで iVDR にアクセスできなかった場合に表示されます 。本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから主電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
iVDR にアクセスできません（3）	他の iVDR 対応機器で使用された iVDR が正常に終了されなかった場合に表示されます。 iVDR 対応機器で正常に終了してからご使用ください。
iVDR にアクセスできません 再生を停止しました	再生中に iVDR にアクセスできなくなった場合に表示されます 。 本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから主電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
iVDR にアクセスできません 録画を停止しました	録画中に iVDR にアクセスできなくなった場合に表示されます 。本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから主電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。 繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
iVDR の初期化ができません	iVDR の初期化に失敗しました。 本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから主電源を入れてください。その後、再度 iVDR 初期化 114 を行なってください。
iVDR が挿入されていません	iVDR を入れないで録画しようとした場合などに表示されます。 iVDR をスロットに入れてください。
挿入された iVDR-S（または iVDR）を認識しました	iVDR-S（または iVDR）をスロットに入れたとき表示されます。
iVDR が初期化されていないため録画できません	未フォーマットの iVDR に録画しようとした場合に表示されます。 メニュー「初期」－「HDD 設定」114で初期化を行ってください。
このディスクはセキュア対応 iVDR-S ではないのでこの番組（コピーワンス番組）は録画できません	セキュア非対応 iVDR にコピーワンス番組を録画しようとした場合などに表示されます。コピーワンス番組の録画を行う場合はセキュア対応 iVDR-S をご使用ください。

メ　モ

参照ページマークについて

■マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

□マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

メニュー階層

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。
各機能のくわしい説明は、（　）内のページをご覧ください。

●リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

初期
ページ1/2
郵便番号 80
地域設定 80
受信設定(地上アナログ)
CHボタン 81 90
CH合せ(地域番号) 82
CH合せ(マニュアル)
設定モード 91
ボタン番号 91
チャンネル 92
表示 92
ガイドCH 92
(L37-X01のみ)
CHスキップ設定 97
受信モード 94
アッテネーター 96
受信設定(地上デジタル)
CH合せ(地域名)
地域名 98
CATV受信 99
初期スキャン 99
再スキャン 99
チャンネル 99
受信レベル 99
CH合せ(マニュアル)
ボタン番号 102
チャンネル 102
3桁番号 102
CHスキップ設定 103
受信周波数変更 104
ダウンロード 105
受信設定(BS·CS)
CH合せ(BS) 106
CH合せ(CS) 106
CHスキップ設定(BS) 108
CHスキップ設定(CS) 108
受信設定変更 109
ダウンロード 111
コンバーター電源 110
かんたんセットアップ 63
ページ2/2
外部機器接続設定
モニター出力(ビデオ) 118
ゲームモード 120
入力スキップ設定 119
入力表示書換設定 121
IRコントロール設定 122
i.LINK機器設定(L37-X01のみ) 126
制限設定
視聴制限 145
暗証番号 145
視聴可能年齢 146
番組購入上限 146
電話回線
テスト 69
回線種別 68
内線発信 70
電話番号通知 71
優先接続解除 72
電話会社 73
待ち時間 74
視聴履歴送信 152
ISP設定
IPアドレス取得 75
IPアドレス 75
サブネットマスク 76
デフォルトゲートウェイアドレス 76
MACアドレス 75
LAN設定
通信設定 77
通信速度 78
通信モード 78
PING先IPアドレス 79
PINGテスト開始 79
HDD設定
サムネイル作成時間 115
リジューム設定 115
リピート設定 115
HDD省電力 115
iVDR初期化 115
時刻設定
日付 112
時刻 113
スタート 113
オート設定CH 113
べんりメニュー
地上アナログ·地上-BS-CSデジタル
/ビデオ入力時
かんたん選局 20
番組説明 24
2画面 32
予約
予約一覧 58
Gコード予約(L37-X01のみ) 56
予約録画停止 63
外部機器操作
かんたん操作 105
i.LINK操作(L37-X01のみ) 112
各種情報
メール・ボード 153
利用状況 151
カード情報 154
写真を見る 109
ダビング中止 90
再生時
番組説明 24
2画面 32
タイムナビ 71
予約録画停止 63
ダビング中止 90
録画番組一覧画面(録画番組選択時)
削除ロック 77
ダビング 88
プレイリスト 70
タイトル順表示/時間順表示 66
編集
サムネイル設定 84
タイトル編集 92
チャプター設定 86
分割 76
フォルダ移動 80
一括削除 79
予約設定 67
録画番組一覧画面(フォルダ選択時)
削除ロック 77
ダビング 88
プレイリスト 70
フォルダ名変更 81
フォルダ追加 83
フォルダ削除 83

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

修理を依頼されるときは
(出張修理)

156 〜 163 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証対象装置：本体　お手持ちの機種名

保証期間…お買い上げ日から 1 年です。

（プラズマパネルは２年間です。ただし、プラズマパネルの焼き付きは保証対象外です。）

補修用性能部品の保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後８年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

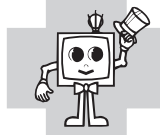
品　名	日立プラズマテレビ 日立液晶テレビ
形　名	本　体　：P42-HV01 リモコン　：C-RP5 本　体　：L37-X01 リモコン　：C-RP3
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　　）	年　月　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間）
365日/9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

（受付時間）
9：00～17：30（月～土）
9：00～17：00（日、祝日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。
年末年始は休ませていただきます。

●次のページに「お問合せ診断シート」があります。
お問合せの前にご確認ください。

お問い合わせ診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際には、以下の情報が役に立ちます。
このシートにご記入の上、お客様相談センターへお問い合わせください。

●確認の基本事項	
(1) 機種名（形名）	□ P42-HV01　□ L37-X01
(2) カード情報	『操作編』154 ページの「カード情報を見る」の操作で 表示される画面の下の 16 ケタ数字を確認してください。 ＿＿＿－＿＿＿／＿＿＿－＿＿＿ カード情報 カード識別　：ＢＡ０３ カードＩＤ　：1111-2222-3333-4444-5555 グループＩＤ： 0000_1234/0000_0000　カードテスト 決定 実行　戻る 終了 16 ケタの数字
(3) 受信環境	□① 自宅のアンテナ　□② 共聴アンテナ（共同受信）　□③ CATV（ケーブルテレビ）
(4) ブースターの有無	□① 使用している　□② 使用していない　□③ 不明
(5) 受信放送	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□ ④ CS デジタル放送 □⑤ ケーブルテレビのホームターミナルで受信し、外部入力で視聴　□ ⑥その他機器（スカパーなど）を外部入力で視聴
●電源が入らない / 切れる	
(6) 本体ランプの状態	□① 橙色　□② 青色　□③ 赤色　□④ 消灯　□⑤ その他 ↓　↓ □点灯　□点滅　（　　　　　　） ランプ位置
(7) メニュー表示は	□① 表示する　□② 表示しない
(8) リモコンでオンしたときに本体内部からカチッという音が聞こえるか	□① 聞こえる　□② 聞こえない
(9) 発生頻度	□① 常時　□② 2 ～ 3 回に 1 回の割合　□③ 稀に　□④ その他〔　　　　　　〕
○映像が映らない	
(10) 映らない映像は	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 □⑤ 外部入力〔　　　　　　〕
(11) 映らないチャンネルは	□① 特定の放送のチャンネル全部　□② 特定のチャンネルのみ
(12) チャンネル表示など、何か画面に表示は出ていますか	□① 出ない　□② 出ている（表示内容＝　　　　　　）
(13) 症状発生までの受信状況	□① 視聴できた　□② 初めて視聴したら映らなかった
(14) 映らない放送（チャンネル）の受信レベルは(アナログ放送除く)	受信レベル数値（　　　）　『①準備編』98 ページの「地域名によるチャンネルの合わせかた」の操作で確認してください。
(15) B-CAS カードは	□① 入っている　□② 入ってない　※一度、B-CAS カードを抜き差しして映るようになるか確認してください。
○録画ができない	
(16) 録画放送	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 □⑤ 外部入力〔　　　　　　〕
(17) 録画方法	□①直接録画　□② 予約録画（　番組表　・　G コード（L37-X01 のみ）・　マニュアル　）
(18) 録画番組	□①特定の番組　□② 全て ↓ 月 / 日　開始時間　～　記録時間　放送　チャンネル　録画モード ＿/＿　＿：＿　＿分　＿　＿　＿
(19) ディスク残量	量：　　%（リモコンの残量ボタンを押す（『操作編』44 ページ記載）
(20) 実行結果（予約時のみ）	□① 実行　□② 取消　□③ 失敗　□④ 削除　（『操作編』63 ページ記載）
(21) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに　□④ その他〔　　　　　　〕
○ダビング（移動）ができない	
(22) ダビング（移動）したい番組	□① 地上アナログ放送　□②地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 録画モード〔　　　　　　〕
(23) ダビング（移動）の方向は（L37-X01）	どこから　□① 外部 iVDR どこへ　□① 弊社製 DVD レコーダー 型番〔　　　〕 □② その他 i.LINK 機器〔　　　〕
(24) ダビング（移動）モード	レート変換　〔 □ XP　□ SP　□ LP　□ EP　□全て　〕
(25) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに　□④ その他〔　　　　　　〕
(26) ダビング（移動）できないタイミングは	□①指定した番組を選択できない □②ダビング（移動）途中でメッセージが出て停止する □③フリーズして動かない<何分程度の時点？> □④ダビング（移動）後、映像が黒画面のままの再生 □⑤その他〔　　　　　　〕
○再生できない	
(27) 内容	□①「録画番組」画面が表示しない　□②録画番組を選択しても再生しない　□③操作できない（フリーズ） □④ブロックノイズが出る　□④その他〔　　　　　　〕
(28) 再生する映像	□外部 iVDR　詳細症状は？：□録画番組画面が開かない　□黒画面のまま　□すぐに放送画面に戻る 番組数は？　：□複数の番組が再生できない　□特定の番組が再生できない〔番組名　　　　〕
(29) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに □④ その他〔　　　　　　〕
○その他の症状	
(30) 詳細内容（症状を詳しく書いてください）	
(31) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに □④ その他〔　　　　　　〕

Quick Reference

Remote Control Buttons and Functions

[DISPLAY] button
Press to display the channel or video input.

[POWER] button
Press to turn the TV on or off.

[BROADCAST SELECT] buttons
Press to select a broadcast.

[CHANNEL] buttons
Press to select a channel.

[MUTE] button
Press to turn off the sound temporally.

[VOLUME UP/DOWN] buttons
Press to control the volume.

[COLOR] buttons
(Blue, Red, Green, Yellow)
Use to operate EPG or data broadcast.

[EPG] button
Press to display Electronic Program Guide(EPG).

[CURRENT PROGRAM] button
Press to view a program at the same time on a difference ch.

[MENU] button
Press to display TV setup and control.

[CURSOR] button
Use to select items on the menu, etc.

[FUNCTION MENU] button
Press to display Function Menu.

[PAUSE] button
Press to pause while playback mode.

[SEARCH/SLOW] button
Press to search the program backward or forward.

[RECORDING] button
Press to start recording.

[10-SECOND BACK] button
Press to skip 10 seconds backward during playback mode.

[REC MODE/REMAINING TIME] button
Press to select Rec mode.

[AUDIO SELECT] button
Press to select audio mode.

[CH NO. INPUT] button
Press the button before selecting a digital channel using 3-digit channel number.

[CH UP/DOWN] buttons
Press to select the channel sequentially.

[INPUT SELECT] button
Press to select video input.

[SWIVEL] button
Press to turn the TV left or right.

[PROGRAM NAVIGATION] button
Press to display program navigation.

ⓓ [DATA] button
Press to show data broadcast.

[ENTER] button
Press to confirm a selected item or setting.

[RETURN] button
Press to go back one step or to return to normal picture.

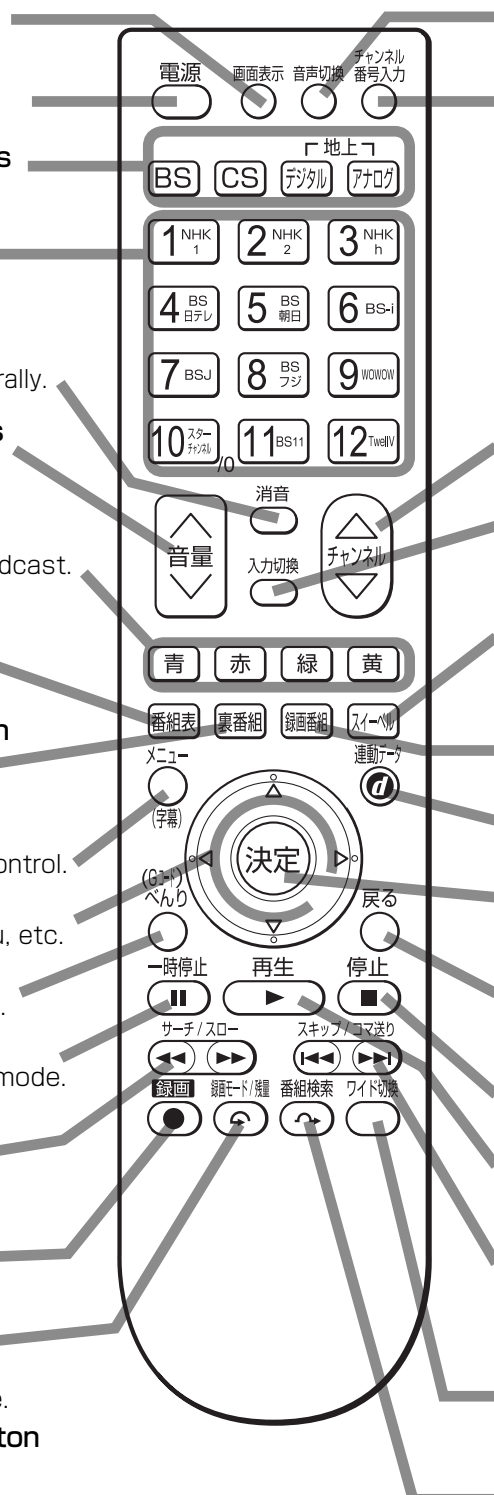
[STOP] button
Press to stop the playback.

[PLAY] button
Press to play a recorded program.

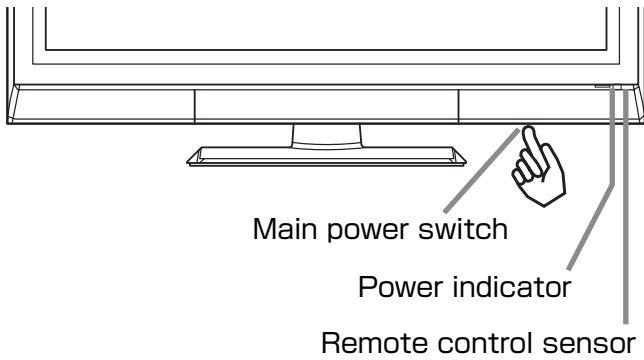
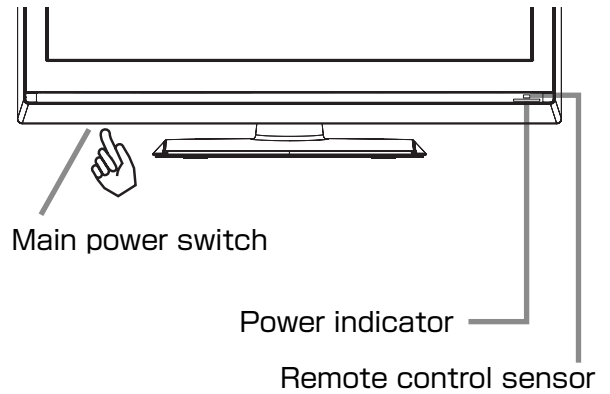
[SKIP/FRAME ADVANCE] buttons
Press to replay from the top of the chapter / to replay by frame skip while pause mode.

[ASPECT] button
Press to change the aspect ratio of the TV.

[PROGRAM SEARCH] button
Press to display program search screen.

[30-SECOND SKIP] button
Press to skip 30 sconds forward during playback mode.

Quick Reference

Preparation

■ Press the Main Power switch under the monitor.
・The power indicator lights green.

Basic Operations

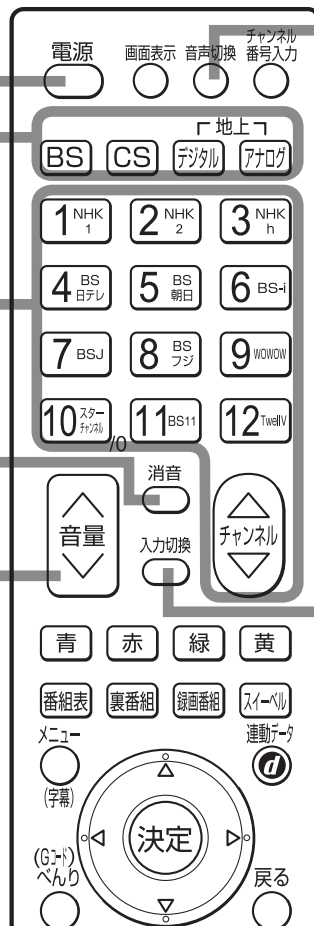
❶ Turn on the TV.
Turn off the TV.

❷ Select a broadcast.

地上デジタル：terrestrial digital
地上アナログ：terrestrial analog

❸ Select a channel.

Press to turn off sound temporally.

❹ Control the volume.

Press to select audio mode.
主 → 副 → 主 / 副
(Japanese) (Original) (Japanese+Original)

Press to select video input.

TV → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → VIDEO1 (ビデオ 1) → VIDEO2 (ビデオ 2) → VIDEO3 (ビデオ 3) → VIDEO4 (ビデオ 4) → i.LINK (L37-X01 only) → TV

用語解説

3次元Y/C
120

Y（輝度）信号とC（色）信号を、水平・垂直・時間軸方向で分離し、映像ノイズを減らす回路です。

ビスタサイズ
30

映像ソフト画面の横と縦の比が、16：9になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

コンポーネント信号

輝度信号（Y）と2つの色差信号（PB/CB, PR/CR）に分離された映像信号です。DVDソフト、BS・CSデジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

CATVホームターミナル

CATVのスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

D-VHSビデオデッキ

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来のVHS方式での録画・再生も行えます。

D端子
130

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD4(525i, 525p, 1125i, 750P）に対応しています。

デジタルハイビジョン放送

2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。110˚CSデジタル放送や地上デジタル放送でもデジタルハイビジョン放送を楽しむことができます。

アスペクト比
130

テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは4：3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は16：9です。

525i(480i),525p(480p), 1125p(1080p),1125i(1080i),750P(720P)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125p：走査線数1125本(有効走査線数1080本)、順次走査方式（プログレッシブ）
1125i ：走査線数1125本(有効走査線数1080本)、飛び越し走査方式（インターレース）
525p ：走査線数525本（有効走査線数480本)、順次走査方式（プログレッシブ）
525i ：走査線数525本（有効走査線数480本)、飛び越し走査方式（インターレース）
750p ：走査線数750本（有効走査線数720本)、順次走査方式（プログレッシブ）

これらの中で、1125p,1125iと750pをデジタルハイビジョン放送と呼びます。また、別の呼称として次のように表示することがあります。

- HD（High Definition）
- SD（Standard Definition）

インターレース

飛び越し走査方式のことで、従来のテレビ放送（NTSC標準方式）で採用している走査方式です。走査線を1本おきに飛び越して表示し、2枚で1画面（フレーム）を見せる方式です。

プログレッシブ

順次走査方式のことで、上から順に走査して表示する方式です。飛び越し走査方式に比べて、画面のチラツキ感の少ないきれいな映像を見ることができます。

HDMI
130

「High Definition Multimedia Interface」の略で、1本のケーブルで映像・音声・制御信号をあわせて伝送できるインターフェースです。
パソコンとディスプレイの接続に使われるデジタルインターフェースの「DVI(Digital Visual Interface)」をベースに、AV機器向けに発展させた規格です。

索　引

英数字

あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やゆよ

らりるれろ

わ

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-68 FAX 0120-3121-87 （受付時間） 365日/9：00～19：00	TEL 0120-3121-11 FAX 0120-3121-34 （受付時間） 9：00～17：30（月～土） 9：00～17：00（日、祝日） 携帯電話、PHSからもご利用できます。 年末年始は休ませていただきます。

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな？と思ったら 156～163 をご覧ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

株式会社 日立製作所

〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目２番１号　新大手町ビル

QR73392

Printed in Japan TM-K(S)